

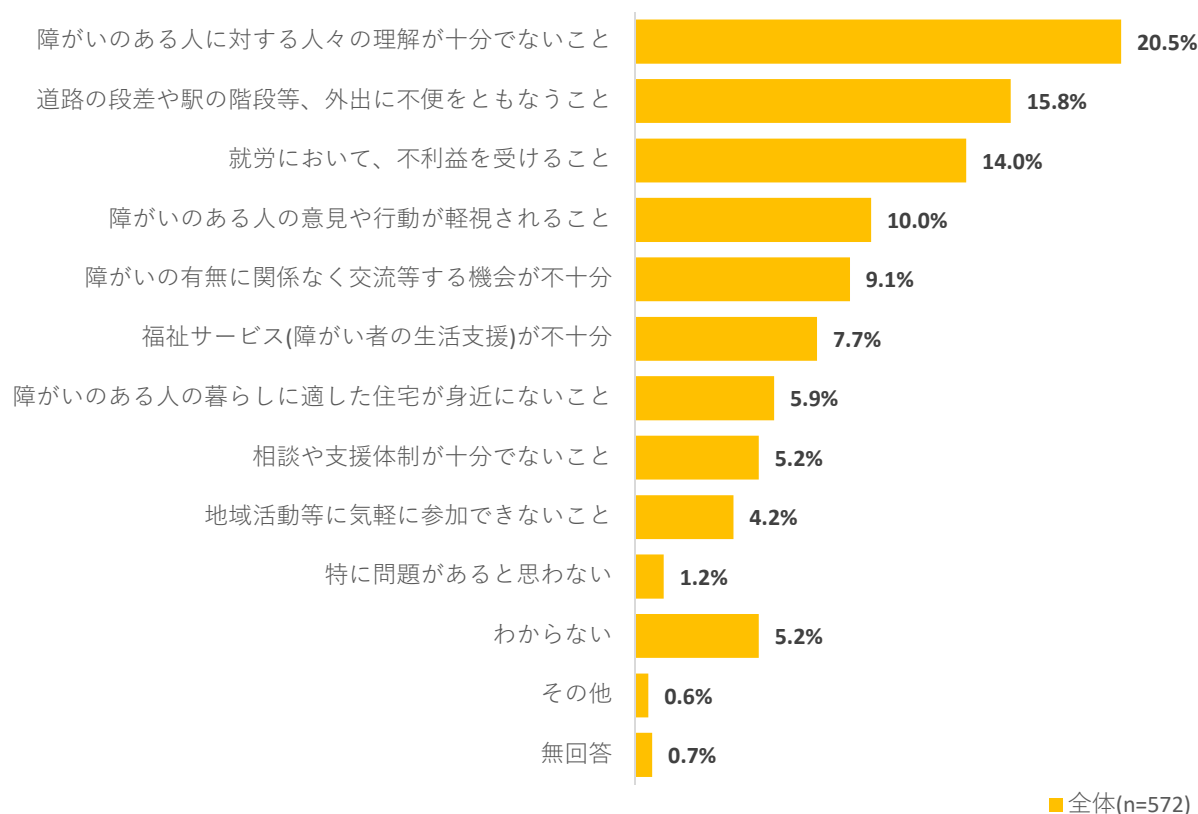
5 障がいのある人の人権について

(1) 障がいのある人の人権に対する問題意識

問 11 障がいのある人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 《○は3つまで》

全 体

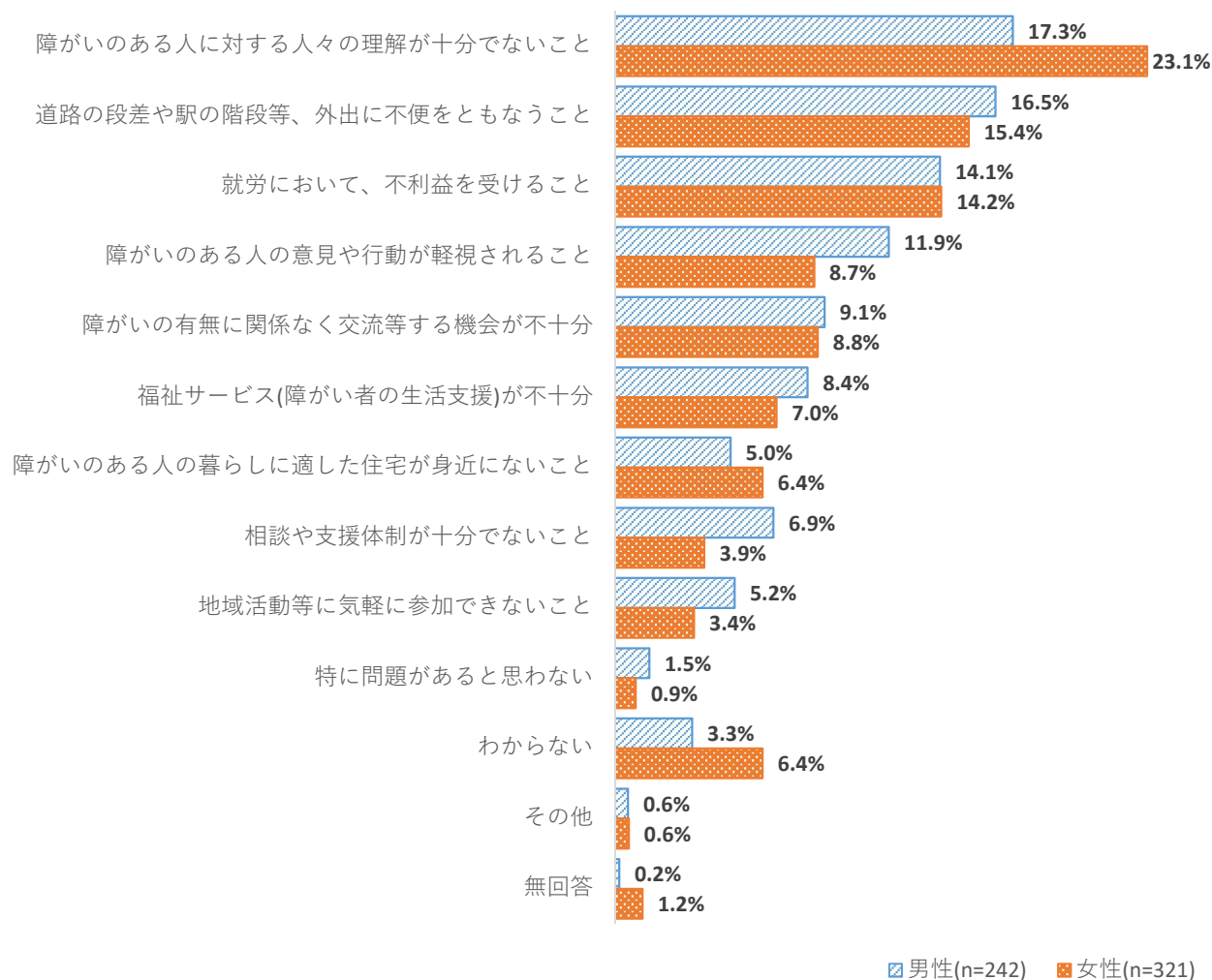
障がいのある人の人権に対する問題について尋ねたところ、「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が20.5%で最も高く、次いで「道路の段差や駅の階段等、外出に不便をとまなうこと」の割合が15.8%、「就労において、不利益を受けること」の割合が14.0%となっています。上位3項目で全体の5割以上を占めています。



性別

男性、女性ともに「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が最も高く、次いで「道路の段差や駅の階段等、外出に不便をとまなうこと」の割合、「就労において、不利益を受けること」の割合となっています。

「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」は、男性（17.3%）に比べ、女性（23.1%）が5.8ポイント高くなっています。



年代別

全体における上位3項目は、20歳代の「道路の段差や駅の階段等、外出に不便をとまなうこと」の割合を除き、各年代ともに±5ポイント内に入っています。

10歳代及び20歳代は、「障がいのある人の意見や行動が軽視されること」の割合が他の年代と比べ高くなっています。

	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	道路の段差や駅の階段等、外出に不便をとまなうこと	就労において、不利益を受けること	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	障がいのある有無に関係なく交流等する機会が不十分	福祉サービス（障がい者の生活支援）が不十分	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	相談や支援体制が十分でないこと	地域活動等に気軽に参加できないこと	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	20.5% (1位)	15.8% (2位)	14.0% (3位)	10.0%	9.1%	7.7%	5.9%	5.2%	4.2%	1.2%	5.2%	0.6%	0.7%
10歳代(n=9)	17.6% (1位)	11.8%	17.6% (1位)	17.6% (1位)	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	19.8% (1位)	8.1%	12.8% (3位)	16.3% (2位)	7.0%	9.3%	5.8%	8.1%	3.5%	2.3%	7.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	22.1% (1位)	14.5% (2位)	13.0% (3位)	13.0% (3位)	12.2%	6.9%	4.6%	3.1%	2.3%	2.3%	4.6%	1.5%	0.0%
40歳代(n=105)	22.4% (1位)	18.6% (2位)	16.5% (3位)	7.2%	8.9%	8.0%	3.8%	5.5%	3.8%	1.3%	3.8%	0.4%	0.0%
50歳代(n=120)	20.2% (1位)	16.7% (2位)	15.1% (3位)	12.0%	8.5%	4.7%	7.4%	3.9%	4.3%	0.4%	5.4%	1.2%	0.4%
60歳代(n=113)	22.7% (1位)	16.8% (2位)	13.9% (3位)	5.9%	9.7%	8.4%	5.9%	6.3%	3.8%	1.7%	3.4%	0.4%	1.3%
70歳代以上(n=123)	16.7% (1位)	15.2% (2位)	11.3% (3位)	10.1%	8.6%	10.1%	7.0%	5.4%	6.2%	0.4%	7.0%	0.0%	1.9%

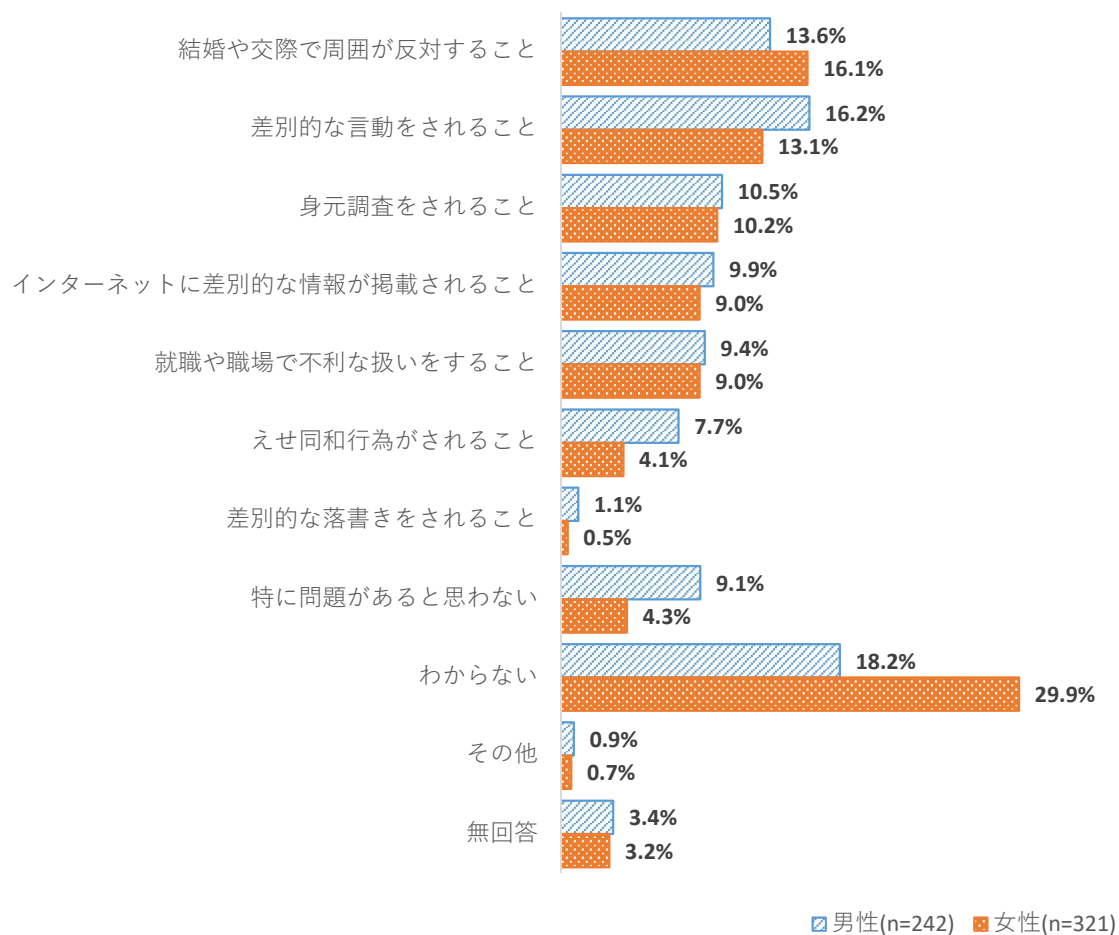
項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

性別

全体で最も割合が高い「わからない」は、男性(18.2%)に比べ、女性(29.9%)が11.7ポイント高くなっています。

男性、女性で順位に違いはありますが、上位3項目は全体における上位3項目と同じとなっています。



年代別

10歳代及び40歳代を除き、「わからない」の割合が最も高くなっています。

10歳代は「結婚や交際で周囲が反対すること」及び「就職や職場で不利な扱いをすること」の割合が20.0%で最も高く、40歳代は「差別的な言動をされること」の割合が19.1%で最も高くなっています。

	結婚や交際で周囲が反対すること	差別的な言動をされること	身元調査をされること	インターネットに差別的な情報が掲載されること	就職や職場で不利な扱いをすること	えせ同和行為がされること	差別的な落書きをされること	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	14.8% (2位)	14.3% (3位)	10.3%	9.5%	9.2%	5.6%	0.7%	6.5%	24.9% (1位)	0.9%	3.4%
10歳代(n=9)	20.0% (1位)	0.0%	13.3% (3位)	13.3% (3位)	20.0% (1位)	6.7%	6.7%	6.7%	13.3% (3位)	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	13.0% (2位)	13.0% (2位)	9.3%	11.1%	13.0% (2位)	0.0%	0.0%	7.4%	33.3% (1位)	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	16.0% (3位)	17.0% (2位)	10.6%	6.4%	13.8%	8.5%	1.1%	4.3%	22.3% (1位)	0.0%	0.0%
40歳代(n=105)	15.3% (3位)	19.1% (1位)	11.5%	8.3%	8.3%	8.9%	0.0%	9.6%	17.8% (2位)	1.3%	0.0%
50歳代(n=120)	16.1% (2位)	13.8%	10.3%	14.9% (3位)	6.3%	5.2%	1.1%	5.7%	23.0% (1位)	1.1%	2.3%
60歳代(n=113)	13.2% (2位)	9.9%	13.2% (2位)	6.0%	11.9%	6.0%	0.0%	4.6%	29.1% (1位)	0.7%	5.3%
70歳代以上(n=123)	13.9% (3位)	14.6% (2位)	6.3%	8.9%	5.7%	2.5%	1.3%	7.0%	29.1% (1位)	1.3%	9.5%

項目別
全体と比べて+5ポイント
全体と比べて+10ポイント

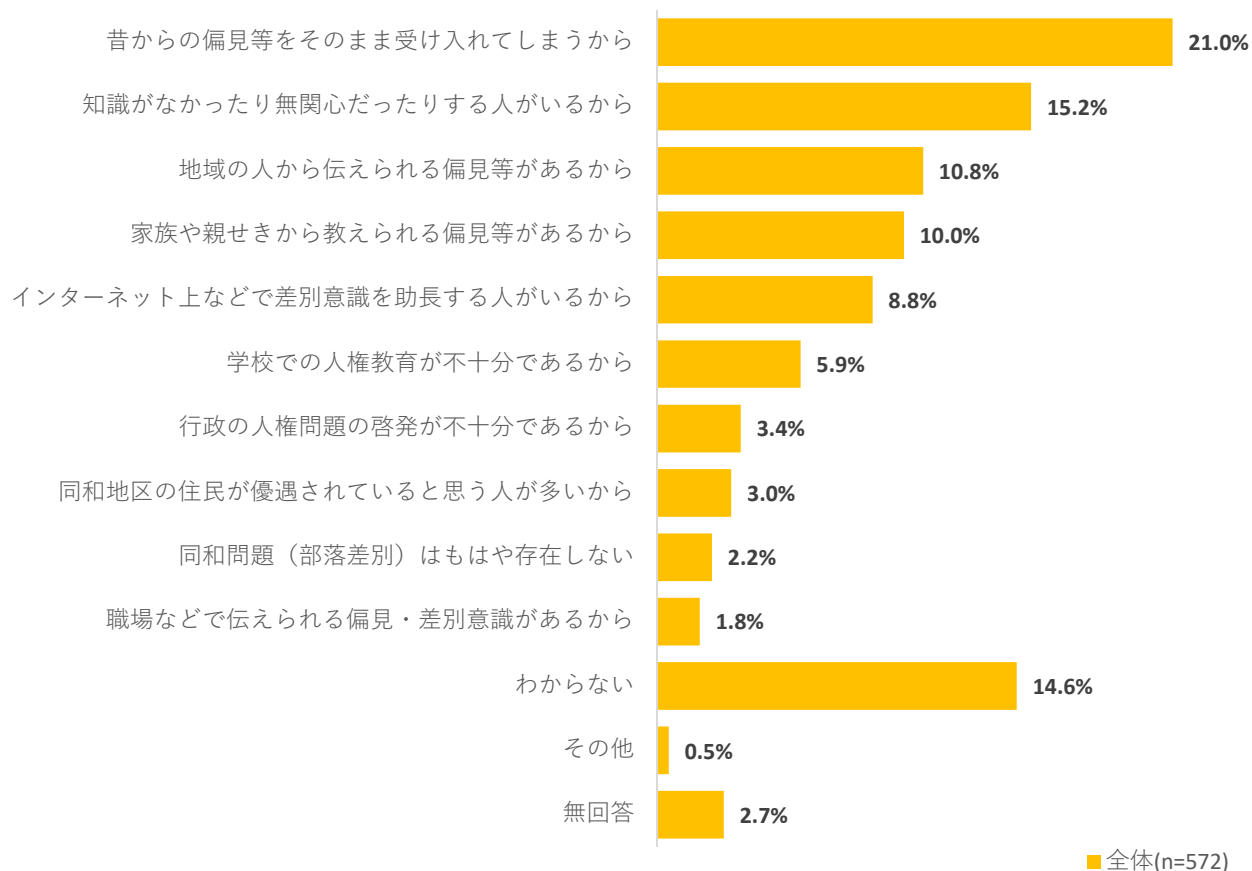
年代別
●(位) 割合が高い上位3位

(2) 同和問題（部落差別）が存在する理由

問 13 現在もなお同和問題（部落差別）が存在するのは、なぜだと思いますか。〈〇は3つまで〉

全 体

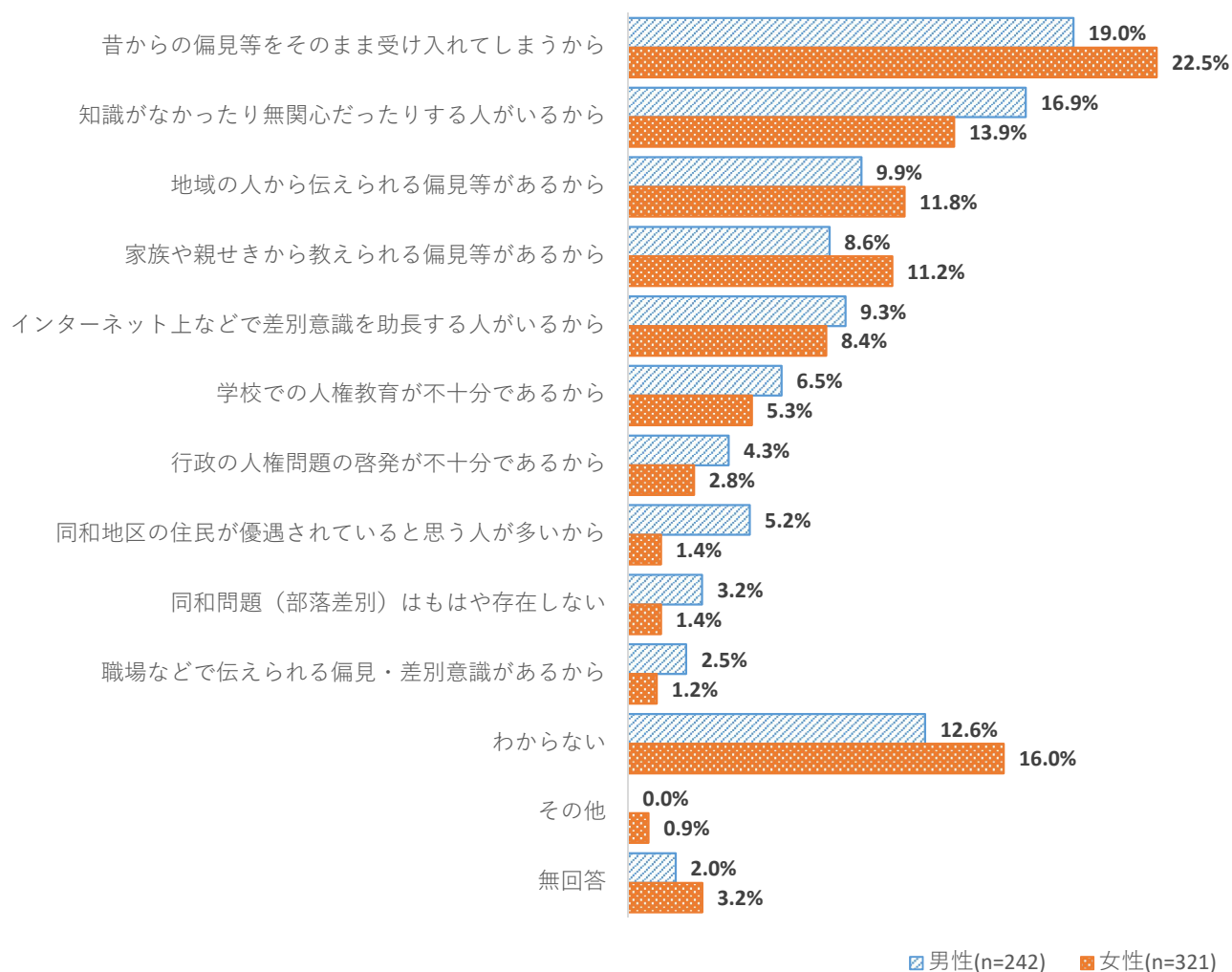
同和問題（部落差別）が存在する理由について尋ねたところ、「昔からの偏見等をそのまま受け入れてしまうから」の割合が21.0%で最も高く、次いで「知識がなかったり無関心だったりする人がいるから」の割合が15.2%、「わからない」の割合が14.6%となっています。上位3項目で全体の5割以上を占めています。



性別

男性、女性ともに「昔からの偏見等をそのまま受け入れてしまうから」の割合が最も高くなっています。

男性、女性で順位に違いはありますが、上位3項目は全体における上位3項目と同じとなっています。



年代別

全体における割合や順位と概ね同様ですが、10代では「学校での人権教育が不十分であるから」や「同和地区の住民が優遇されていると思う人が多いから」の割合が他の年代より高く、30代では「地域の人から伝えられる偏見等があるから」の割合が他の年代より高くなっています。

	昔からの偏見等をそのまま受け入れてしまうから	知識がなかったり無関心だったりする人がいるから	地域の人から伝えられる偏見等があるから	家族や親せきから教えられる偏見等があるから	インターネットなどで差別意識を助長する人がいるから	学校での人権教育が不十分であるから	行政の人権問題の啓発が不十分であるから	同和地区の住民が優遇されていると思う人が多いから	同和問題（部落差別）はもはや存在しない	職場などで伝えられる偏見・差別意識があるから	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	21.0% (1位)	15.2% (2位)	10.8%	10.0%	8.8%	5.9%	3.4%	3.0%	2.2%	1.8%	14.6% (3位)	0.5%	2.7%
10歳代(n=9)	12.5% (3位)	18.8% (1位)	6.3%	0.0%	6.3%	12.5% (3位)	6.3%	12.5% (3位)	6.3%	0.0%	18.8% (1位)	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	17.1% (3位)	18.6% (1位)	7.1%	11.4%	10.0%	4.3%	4.3%	2.9%	2.9%	2.9%	18.6% (1位)	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	22.0% (1位)	13.6%	16.1% (2位)	13.6%	8.5%	5.1%	1.7%	2.5%	1.7%	0.8%	14.4% (3位)	0.0%	0.0%
40歳代(n=105)	22.2% (1位)	15.9% (2位)	11.1%	14.5% (3位)	9.7%	5.3%	1.4%	3.4%	1.9%	3.4%	9.7%	1.0%	0.5%
50歳代(n=120)	19.7% (1位)	16.4% (2位)	8.9%	8.9%	12.2%	5.2%	4.7%	3.3%	1.9%	1.4%	14.1% (3位)	0.9%	2.3%
60歳代(n=113)	23.2% (1位)	13.6% (3位)	9.6%	8.6%	8.1%	6.1%	4.0%	3.0%	3.5%	2.0%	14.1% (2位)	0.5%	3.5%
70歳代以上(n=123)	20.3% (1位)	14.4% (3位)	12.4%	6.4%	5.0%	7.4%	4.0%	2.0%	1.5%	0.5%	19.3% (2位)	0.0%	6.9%

項目別
全体と比べて+5ポイント
全体と比べて+10ポイント

年代別
(●位) 割合が高い上位3位

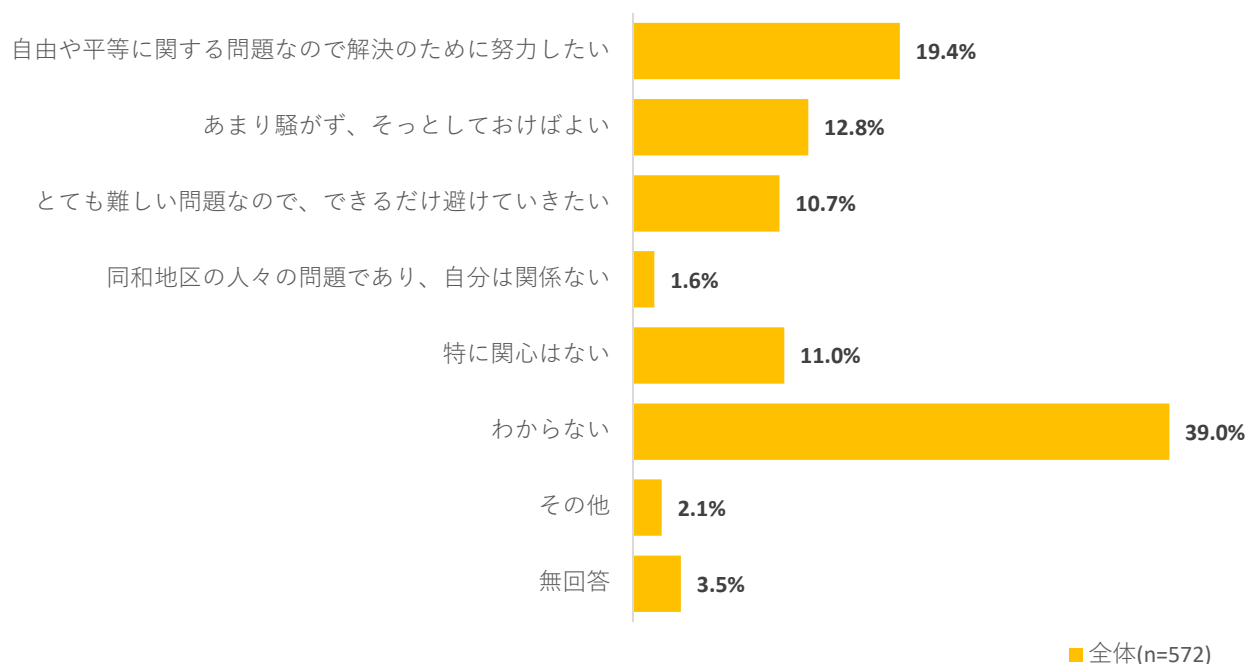
(3) 同和問題（部落差別）に対する考え

問 14 同和問題（部落差別）について、あなたはどのように考えていますか

《いずれか1つに○》

全 体

同和問題（部落差別）に対する考えについて尋ねたところ、「わからない」の割合が39.0%で最も高く、次いで「自由や平等に関する問題なので解決のために努力したい」の割合が19.4%、「あまり騒がず、そっとしておけばよい」の割合が12.8%となっています。

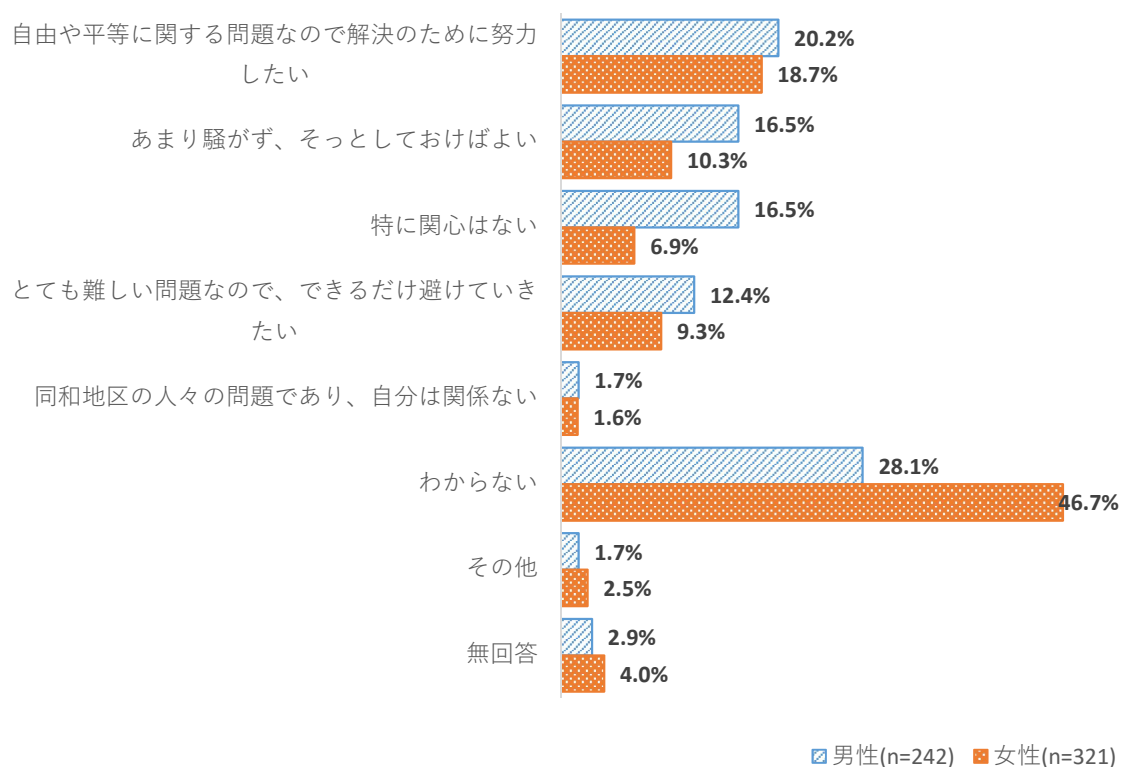


性別

男性、女性ともに「わからない」の割合が最も高く、次いで「自由や平等に関する問題なので解決のために努力したい」の割合が高くなっています。

男性は「特に興味はない」の割合が16.5%で、女性(6.9%)と比べて9.6ポイント高くなっています。

女性は「わからない」の割合が46.7%で、男性(28.1%)と比べて18.6ポイント高くなっています。



年代別

10歳代を除き、「わからない」の割合や「自由や平等に関する問題なので解決のために努力したい」の割合は、他の項目と比べて高くなっています。

10歳代では、「あまり騒がず、そっとしておけばよい」の割合が33.3%で最も高くなっています。

	解 決 の た め に 努 力 す る た い な の で	自 由 や 平 等 に 関 連 す る 問 題 な の で	そ あ つ ま と り し 騒 が お け ば よ い	あ ま り 騒 が ず 、 そ と し て お け ば よ い	で き る だ け し 避 け て い き た い	と も 難 し い 問 題 な の で	自 分 は 関 係 な い	同 和 地 区 の 人 々 の 問 題 で あ り 、	特 に 関 心 は な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=572)	19.4% (2位)	12.8% (3位)	10.7%	1.6%	11.0%	39.0% (1位)	2.1%	3.5%				
10歳代(n=9)	11.1%	33.3% (1位)	22.2% (2位)	0.0%	11.1%	22.2% (2位)	0.0%	0.0%				
20歳代(n=41)	22.0% (2位)	2.4%	12.2%	0.0%	14.6% (3位)	46.3% (1位)	2.4%	0.0%				
30歳代(n=60)	23.3% (2位)	13.3% (3位)	6.7%	1.7%	11.7%	43.3% (1位)	0.0%	0.0%				
40歳代(n=105)	19.0% (2位)	11.4%	10.5%	2.9%	14.3% (3位)	38.1% (1位)	3.8%	0.0%				
50歳代(n=120)	20.0% (2位)	11.7%	12.5% (3位)	0.0%	10.0%	40.8% (1位)	2.5%	2.5%				
60歳代(n=113)	18.6% (2位)	16.8% (3位)	8.8%	2.7%	10.6%	34.5% (1位)	1.8%	6.2%				
70歳代以上(n=123)	17.9% (2位)	13.0% (3位)	11.4%	1.6%	8.1%	38.2% (1位)	1.6%	8.1%				

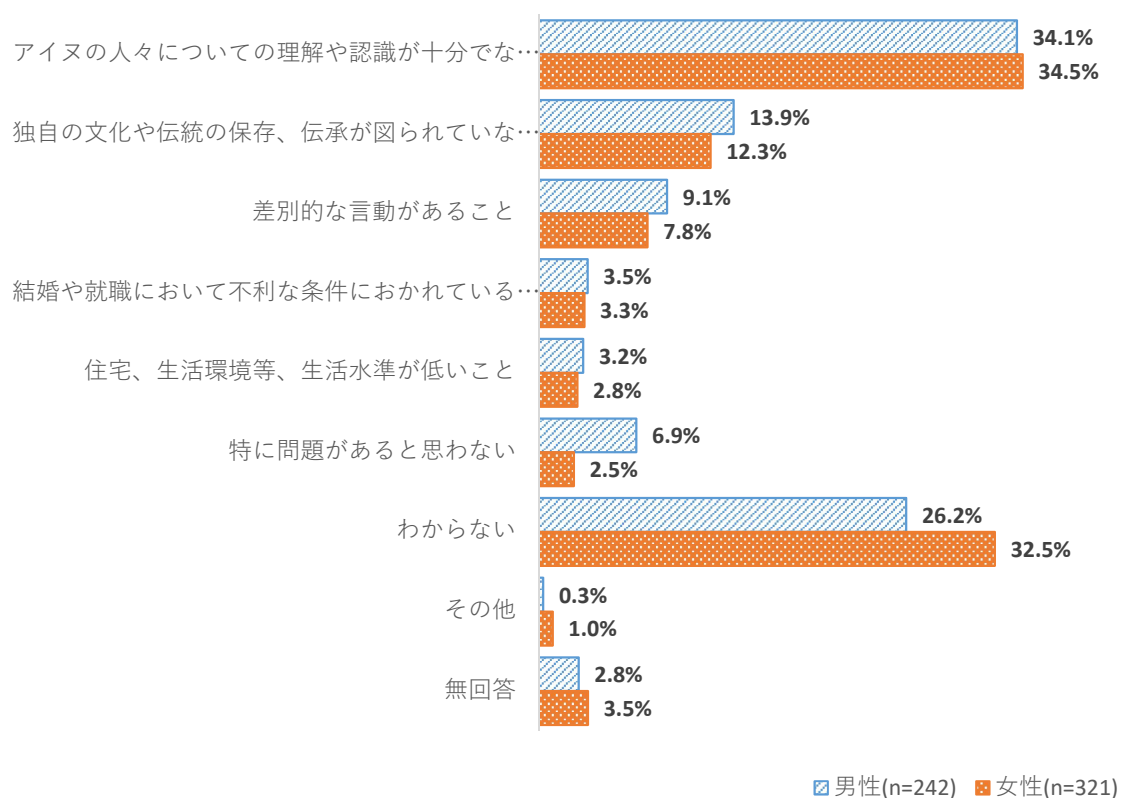
項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
 (●位) 割合が高い上位3位

性別

男性、女性ともに「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」の割合が最も高く、次いで「わからない」の割合、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」の割合となっており、全体における上位3位と同じとなっています。

上位3位の中で「わからない」の割合は女性が32.5%で、男性(26.2%)と比べて6.3ポイント高くなっています。



年代別

全体における上位3項目は、40歳代の「差別的な言動があること」を除き、各年代の上位3項目に入っています。

20歳代の「わからない」の割合が49.0%で、同項目における他の年代と比べ高くなっています。

	アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと	独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと	差別的な言動があること	結婚や就職において不利な条件におかれていること	住宅、生活環境等、生活水準が低いこと	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体 (n=572)	34.4% (1位)	12.8% (3位)	8.4%	3.3%	2.9%	4.5%	29.7% (2位)	0.8%	3.2%
10歳代 (n=9)	18.2% (2位)	18.2% (2位)	9.1%	0.0%	0.0%	18.2% (2位)	36.4% (1位)	0.0%	0.0%
20歳代 (n=41)	24.5% (2位)	10.2% (3位)	8.2%	2.0%	0.0%	4.1%	49.0% (1位)	2.0%	0.0%
30歳代 (n=60)	32.5% (1位)	15.0% (3位)	7.5%	5.0%	1.3%	5.0%	32.5% (1位)	0.0%	1.3%
40歳代 (n=105)	37.0% (1位)	7.4%	11.9% (3位)	4.4%	3.0%	8.1%	27.4% (2位)	0.7%	0.0%
50歳代 (n=120)	32.5% (1位)	13.0% (3位)	8.4%	1.9%	3.9%	3.9%	32.5% (1位)	1.9%	1.9%
60歳代 (n=113)	38.4% (1位)	16.4% (3位)	6.8%	5.5%	3.4%	3.4%	21.2% (2位)	0.7%	4.1%
70歳代以上 (n=123)	35.8% (1位)	13.2% (3位)	7.3%	1.3%	3.3%	2.0%	28.5% (2位)	0.0%	8.6%

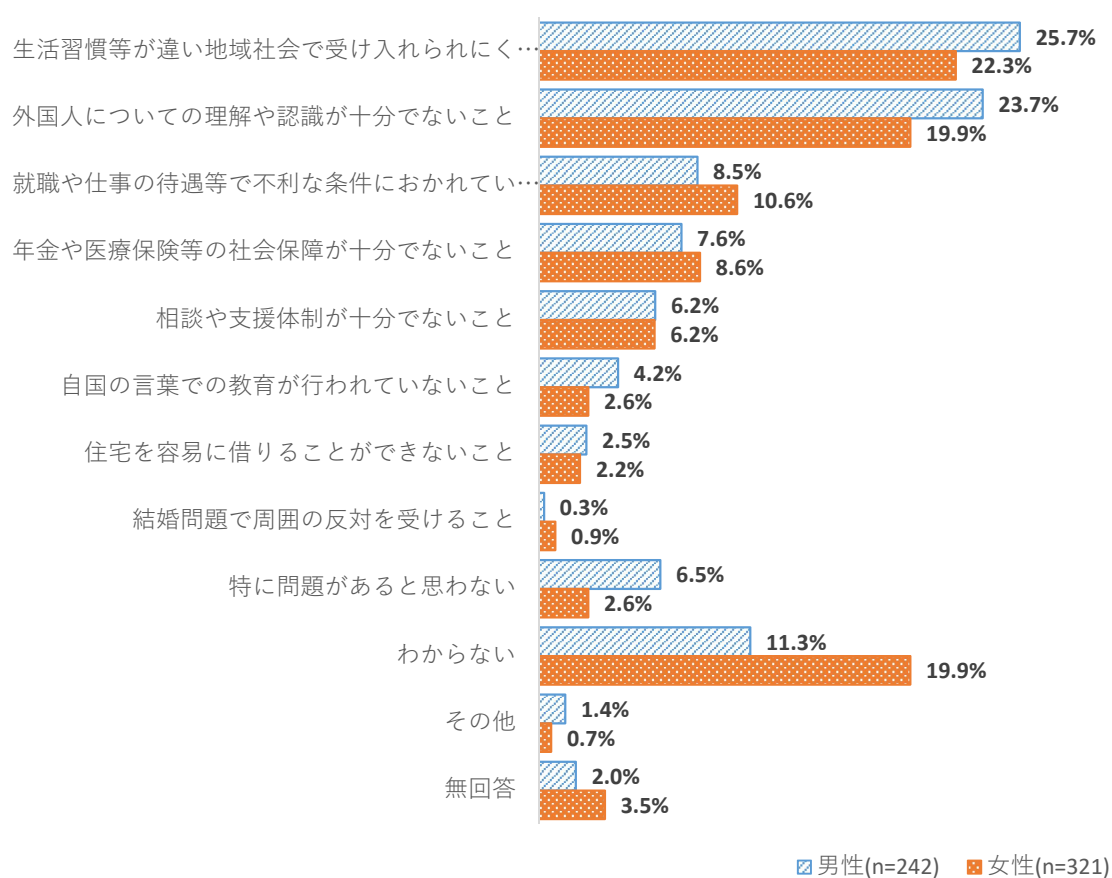
項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

性別

男性、女性ともに「生活習慣等が違い地域社会で受け入れられにくいこと」の割合が最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」の割合、「わからない」の割合となっており、全体における上位3位と同じとなっています。

上位3位の中で「わからない」の割合は女性が19.9%で、男性(11.3%)と比べて8.6ポイント高くなっています。



年代別

全体で最も高い割合の「生活習慣等が違い地域社会で受け入れられにくいこと」は、60歳代が28.5%で全体における割合よりも5ポイント高くなっています。

20歳代は、「わからない」の割合が最も高く、同項目における他の年代の割合と比べて高くなっています。

	受け入れられにくい地域社会で	生活習慣等が	外国人に	おかしな	就職や仕事の待遇で不利な条件に	十分な医療保険等の社会保障が	相談や支援体制が十分でないこと	行われる言葉の教育が	自己の言葉の教育が	できな	住宅を容易に借りることが	結婚問題で周囲の反対を	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	23.5% (1位)	21.5% (2位)	9.7%	8.3%	6.2%	3.3%	2.3%	0.6%	4.4%	16.3% (3位)	1.1%	2.8%				
10歳代(n=9)	16.7% (1位)	16.7% (1位)	16.7% (1位)	16.7% (1位)	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7% (1位)	0.0%	0.0%				
20歳代(n=41)	16.4% (2位)	14.5% (3位)	7.3%	7.3%	12.7%	3.6%	5.5%	0.0%	5.5%	27.3% (1位)	0.0%	0.0%				
30歳代(n=60)	20.8% (2位)	26.0% (1位)	10.4% (3位)	10.4% (3位)	6.3%	6.3%	7.3%	1.0%	4.2%	7.3%	0.0%	0.0%				
40歳代(n=105)	25.3% (1位)	21.9% (2位)	11.6%	8.2%	4.1%	2.7%	2.7%	0.7%	7.5%	13.7% (3位)	0.7%	0.7%				
50歳代(n=120)	23.6% (1位)	21.3% (2位)	11.5%	9.8%	4.6%	2.3%	1.1%	0.6%	4.0%	16.7% (3位)	2.9%	1.7%				
60歳代(n=113)	28.5% (1位)	20.6% (2位)	8.5%	6.1%	7.3%	2.4%	1.2%	0.6%	3.0%	16.4% (3位)	0.6%	4.8%				
70歳代以上(n=123)	21.3% (2位)	22.5% (1位)	7.1%	7.7%	6.5%	4.1%	0.6%	0.6%	3.0%	18.9% (3位)	1.2%	6.5%				

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

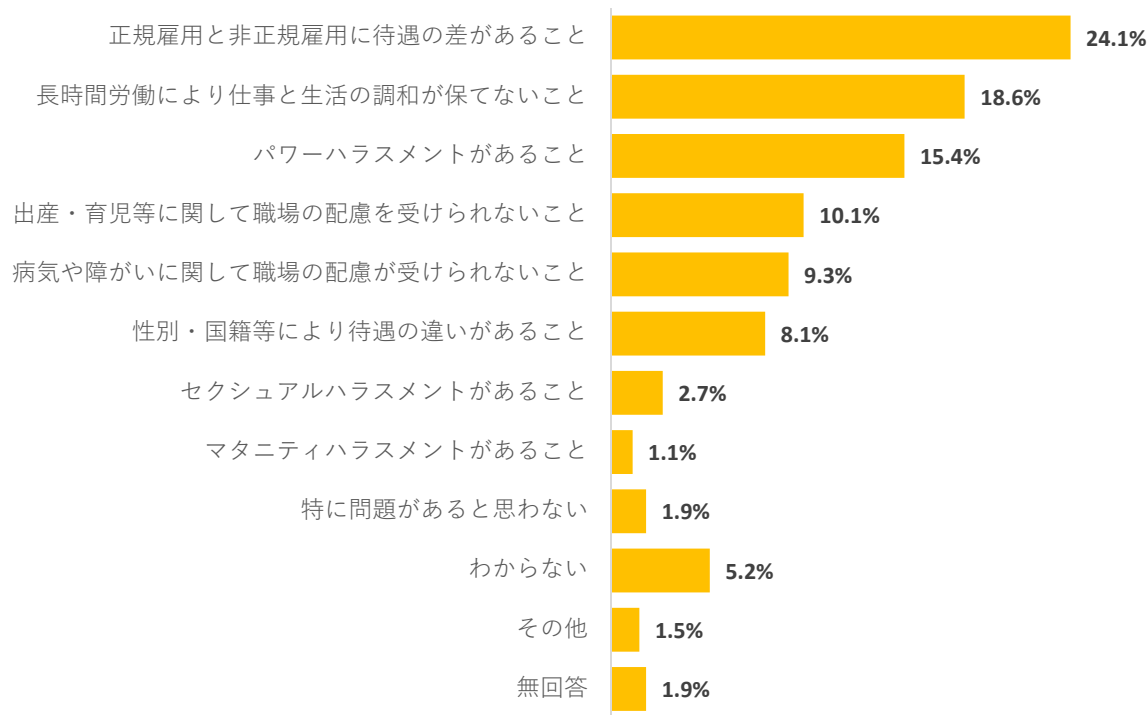
9 働く人の人権について

(1) 働く人の人権に対する問題意識

問 17 働く人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 <<〇は3つまで>>

全 体

働く人の人権に対する問題意識について尋ねたところ、「正規雇用と非正規雇用に待遇の差があること」の割合が 24.1%で最も高く、次いで「長時間労働により仕事と生活の調和が保てないこと」の割合が 18.6%、「パワーハラスメントがあること」の割合が 15.4%となっています。上位3項目で全体の5割以上を占めています。

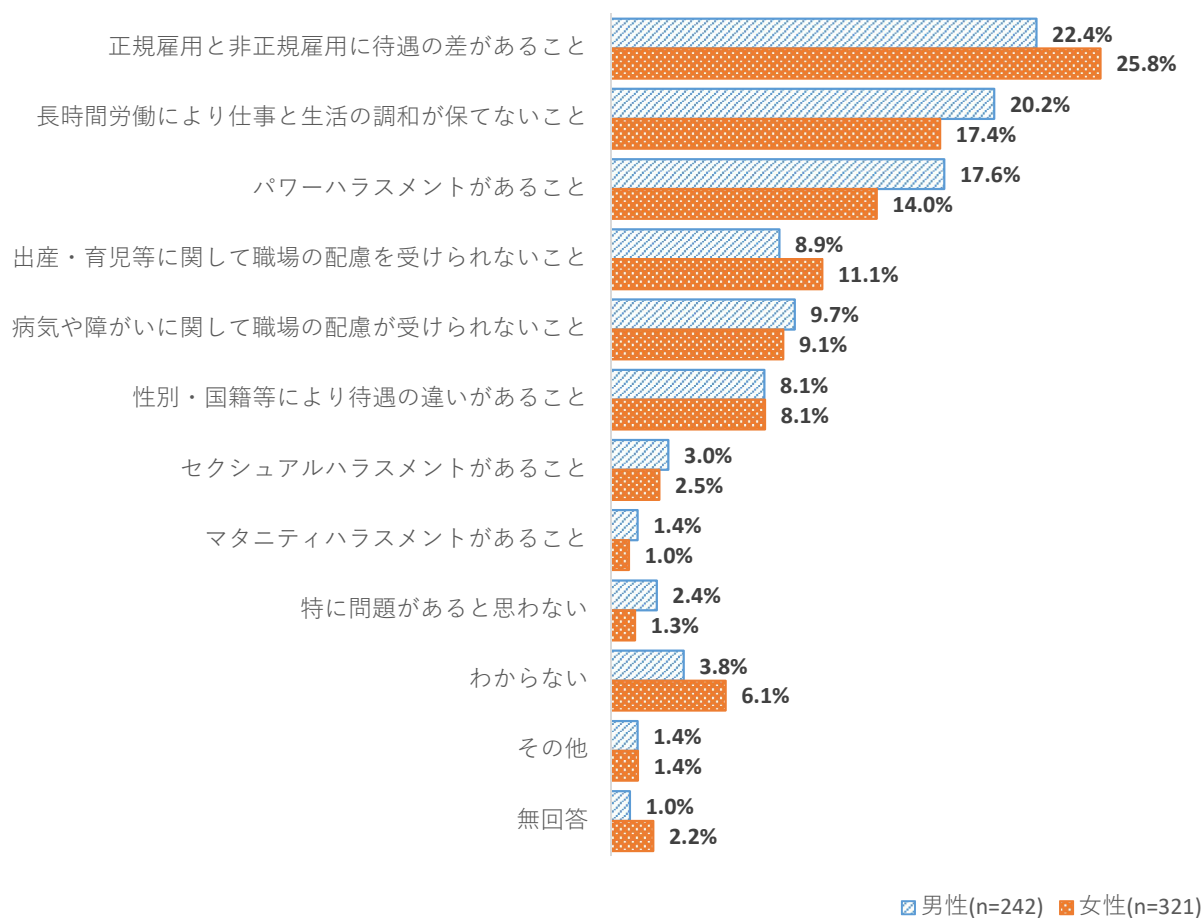


■全体(n=572)

性別

男性、女性ともに「正規雇用と非正規雇用に待遇の差があること」の割合が最も多く、次いで「長時間労働により仕事と生活の調和が保てないこと」の割合、「パワーハラスメントがあること」の割合となっており、全体における上位3位と同じとなっています。

「正規雇用と非正規雇用に待遇の差があること」の割合は、男性より女性が高く、「長時間労働により仕事と生活の調和が保てないこと」及び「パワーハラスメントがあること」の割合は女性より男性が高くなっています。



年代別

20 歳代では「長時間労働により仕事と生活の調和が保てないこと」の割合が 28.9%で最も高く、他の年代と比べて高くなっています。

40 歳代では「パワーハラスメントがあること」の割合が 22.4%で最も高くなっています。

	正規雇用と非正規雇用 に待遇の差があること	長時間労働により仕事と生活の調和が保てないこと	パワーハラスメントがあること	出産・育児等に関して職場の配慮を受けられないこと	病気や障がいに関して職場の配慮を受けられないこと	性別・国籍等により待遇の違いがあること	セクシュアルハラスメントがあること	マタニティハラスメントがあること	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	24.1% (1位)	18.6% (2位)	15.4% (3位)	10.1%	9.3%	8.1%	2.7%	1.1%	1.9%	5.2%	1.5%	1.9%
10歳代(n=9)	20.0% (1位)	15.0% (3位)	20.0% (1位)	5.0%	0.0%	15.0% (3位)	5.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	13.3%	28.9% (1位)	14.5% (3位)	19.3% (2位)	14.5% (3位)	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	20.1% (2位)	23.1% (1位)	12.7%	17.9% (3位)	6.0%	9.0%	4.5%	2.2%	1.5%	2.2%	0.7%	0.0%
40歳代(n=105)	16.9% (3位)	19.6% (2位)	22.4% (1位)	8.7%	9.6%	8.7%	4.1%	1.8%	3.7%	2.7%	1.4%	0.5%
50歳代(n=120)	24.5% (1位)	20.7% (2位)	20.7% (2位)	6.3%	7.6%	10.1%	1.3%	0.0%	0.8%	3.0%	3.8%	1.3%
60歳代(n=113)	29.4% (1位)	14.5% (2位)	13.6% (3位)	9.2%	9.6%	6.6%	3.9%	1.8%	0.9%	6.6%	1.3%	2.6%
70歳代以上(n=123)	32.9% (1位)	13.1% (2位)	6.1%	8.9%	11.7% (3位)	8.5%	0.9%	0.0%	2.3%	9.9%	0.5%	5.2%

項目別 全体と比べて+5ポイント 年代別 全体と比べて+10ポイント (●位) 割合が高い上位3位

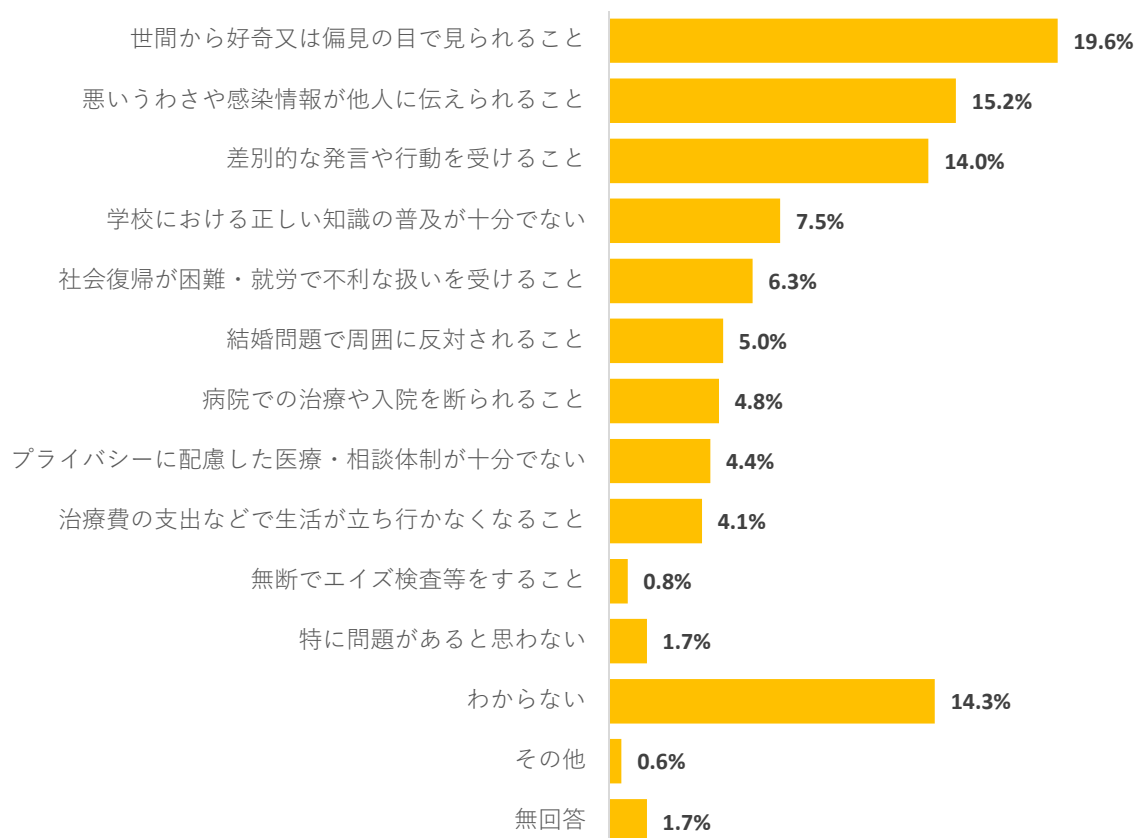
10 エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病患者等の人権について

(1) エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病患者等の人権に対する問題意識

問 18 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 《○は3つまで》

全 体

エイズ患者・HIV感染者・ハンセン病患者等の人権に対する問題意識について尋ねたところ、「世間から好奇又は偏見の目で見られること」の割合が19.6%で最も高く、次いで「悪いうわさや感染情報が他人に伝えられること」の割合が15.2%、「わからない」の割合が14.3%となっています。



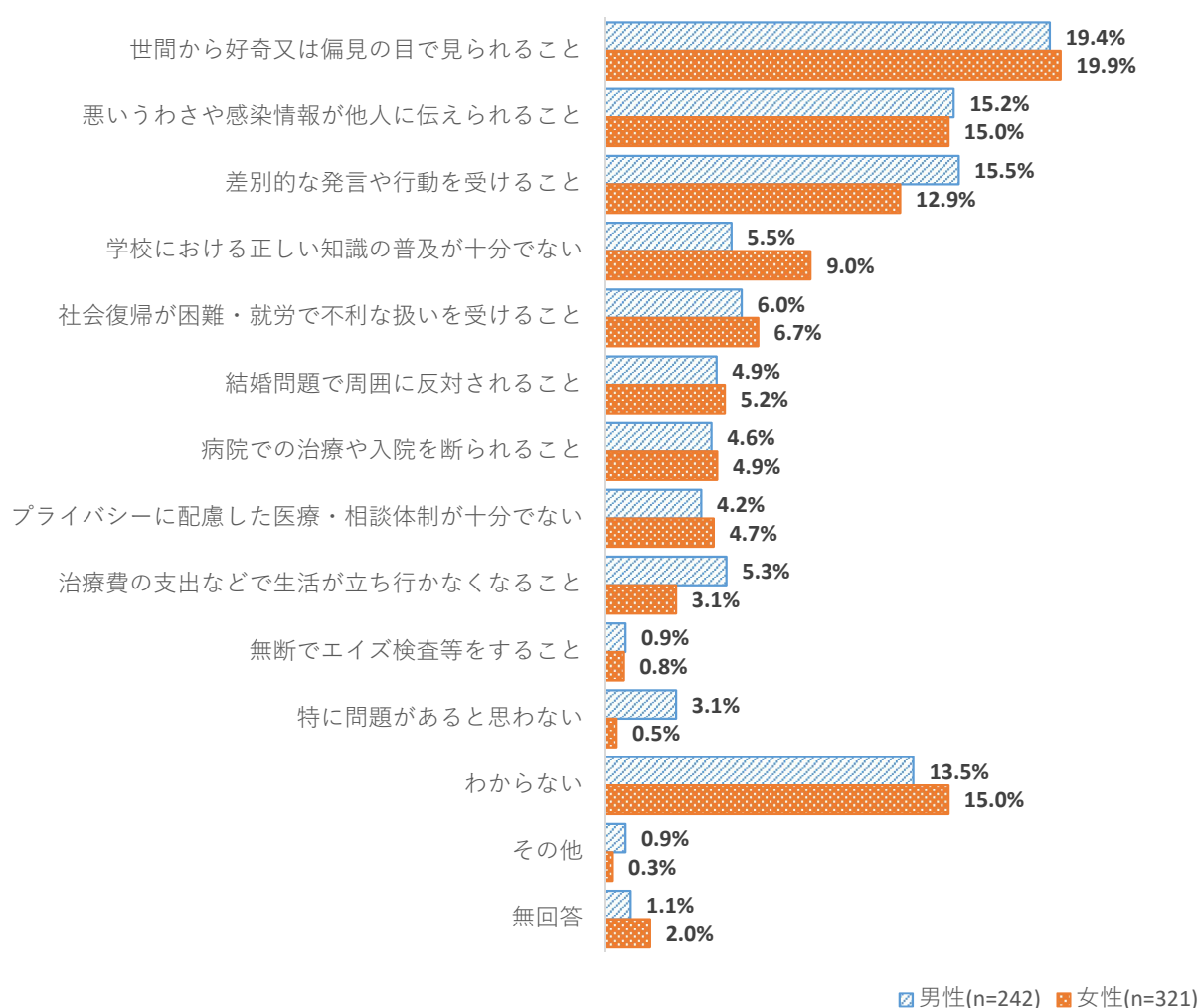
■全体(n=572)

性別

男性、女性ともに「世間から好奇又は偏見の目で見られること」の割合が最も高くなっています。

2番目に高い項目として、男性では「差別的な発言や行動を受けること」の割合が、女性では「悪いうわさや感染情報が他人に伝えられること」の割合が高くなっています。

上位項目に違いはあるものの、性別間での割合の差は「学校における正しい知識の普及が十分でない」の3.5ポイント（男性5.5%・女性9.0%）を最大に、大きな差がありません。



年代別

10歳代を除き、「世間から好奇又は偏見の目で見られること」の割合が最も高くなっています。

「世間から好奇又は偏見の目で見られること」、「悪いうわさや感染情報が他人に伝えられること」、「差別的な発言や行動を受けること」、「わからない」は、10歳代を除く各年代の上位3位以内に入っています。

	世間から好奇又は偏見の目で見られること	悪いうわさや感染情報が他人に伝えられること	差別的な発言や行動を受けること	学校における正しい知識の普及が十分でない	社会復帰が困難・就労で不利な扱いを受けること	結婚問題で周囲に反対されること	病院での治療や入院を断られること	プライバシーに配慮した医療・相談体制が十分でない	治療費の支出などで生活が立ち行かなくなる	無断でエイズ検査等を行うこと	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	19.6% (1位)	15.2% (2位)	14.0%	7.5%	6.3%	5.0%	4.8%	4.4%	4.1%	0.8%	1.7%	14.3% (3位)	0.6%	1.7%
10歳代(n=9)	6.7%	20.0% (1位)	13.3% (2位)	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	13.3% (2位)	13.3% (2位)	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	20.5% (1位)	20.5% (1位)	12.8%	5.1%	2.6%	3.8%	11.5%	2.6%	3.8%	2.6%	0.0%	14.1% (3位)	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	16.2% (1位)	16.2% (1位)	13.7%	8.5%	7.7%	5.1%	6.0%	1.7%	5.1%	0.9%	1.7%	16.2% (1位)	0.9%	0.0%
40歳代(n=105)	19.0% (1位)	17.1% (2位)	16.6% (3位)	7.6%	6.2%	5.2%	6.2%	4.7%	4.3%	0.5%	1.4%	10.9%	0.0%	0.5%
50歳代(n=120)	24.3% (1位)	14.2% (3位)	15.5% (2位)	4.0%	7.5%	5.8%	2.7%	4.0%	4.9%	0.0%	2.2%	12.4%	1.3%	1.3%
60歳代(n=113)	20.0% (1位)	14.0%	14.9% (3位)	9.8%	5.1%	3.7%	2.8%	4.7%	3.7%	1.4%	0.9%	16.7% (2位)	0.5%	1.9%
70歳代以上(n=123)	17.6% (1位)	12.5% (3位)	9.7%	9.7%	6.9%	5.6%	4.6%	6.9%	2.8%	0.5%	1.9%	16.2% (2位)	0.5%	4.6%

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
● (●位) 割合が高い上位3位

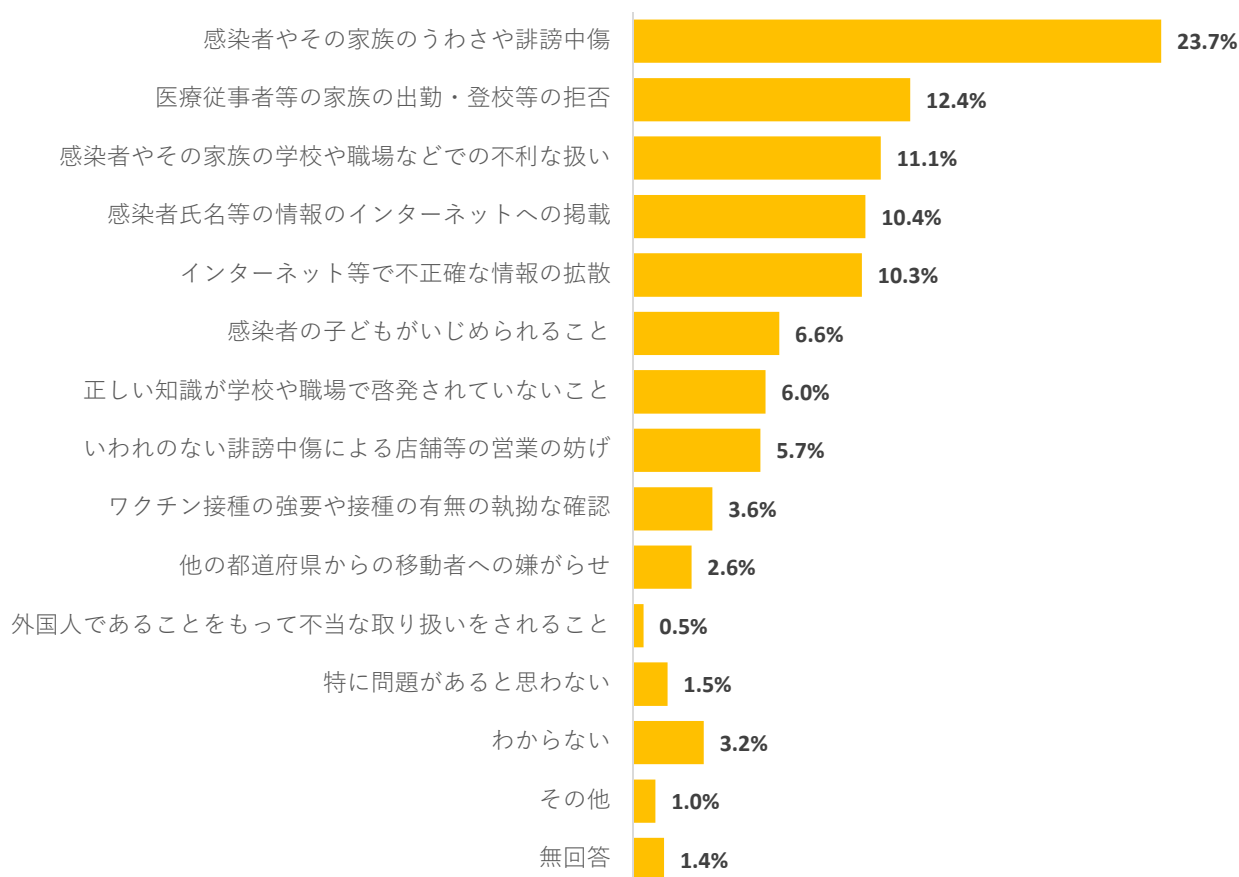
1 1 新型コロナウイルス感染症に関する人権について

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する人権に対する問題意識

問 19 新型コロナウイルス感染症に関連して、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 《○は3つまで》

全 体

新型コロナウイルス感染症に関する人権に対する問題意識について尋ねたところ、「感染者やその家族のうわさや誹謗中傷」の割合が23.7%で最も高く、次いで「医療従事者等の家族の出勤・登校等の拒否」の割合が12.4%、「感染者やその家族の学校や職場などでの不利な扱い」の割合が11.1%となっています。



■ 全体(n=572)

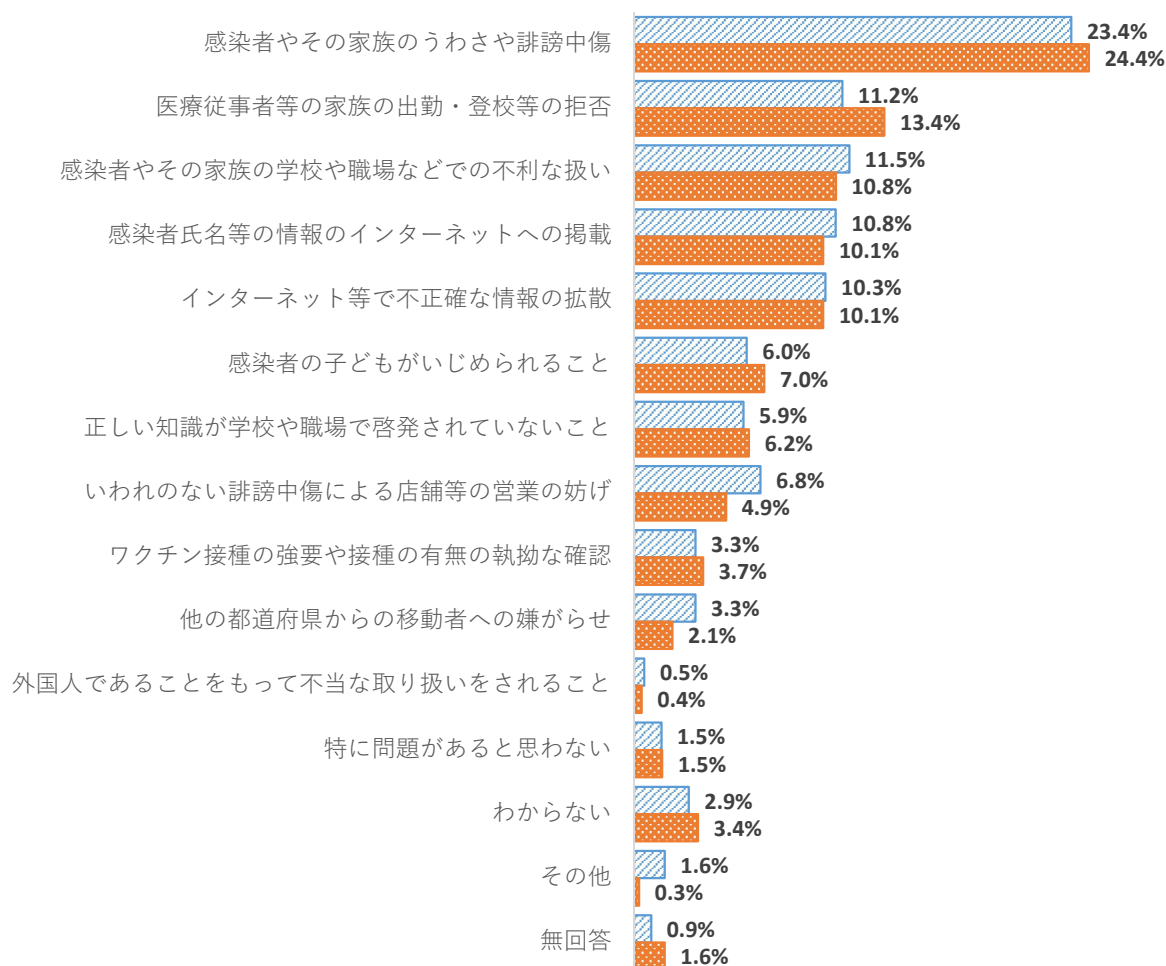
性別

男性、女性ともに「感染者やその家族のうわさや誹謗中傷」の割合が最も高くなっています。

男性では「感染者やその家族の学校や職場などでの不利な扱い」の割合が2番目に高く、「医療従事者等の家族の出勤・登校等の拒否」の割合が3番目に高くなっています。

女性では「医療従事者等の家族の出勤・登校等の拒否」の割合が2番目に高く、「感染者やその家族の学校や職場などでの不利な扱い」の割合が3番目に高くなっています。

性別で順位に違いはあるものの、男性、女性ともに全体における上位3項目が上位3位に入っています。



■ 男性(n=242) ■ 女性(n=321)

年代別

全年代で「感染者やその家族のうわさや誹謗中傷」の割合が最も高くなっています。

各年代の2番目、3番目に高い項目は、ばらつきが見られますが、10歳代を除き、全体における上位2位から5位の項目となっています。

	感染者やその家族のうわさや誹謗中傷	医療従事者等の家族の出勤・登校等の拒否	感染者やその家族の学校や職場などでの不利な扱い	感染者氏名等の情報のインターネットへの掲載	インターネット等で正確な情報の拡散	感染者の子どもがいじめられること	正しい知識が学校や職場で啓発されていないこと	いわれのない誹謗中傷による店舗等の営業の妨げ	ワクチン接種の強要や接種の有無の執拗な確認	他の都道府県からの移動者への嫌がらせ	外国人であることをもって不当な取り扱いをされること	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	23.7% (1位)	12.4% (2位)	11.1% (3位)	10.4%	10.3%	6.6%	6.0%	5.7%	3.6%	1.5%	0.5%	2.6%	3.2%	1.0%	1.4%
10歳代(n=9)	28.6% (1位)	9.5%	23.8% (2位)	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%	14.3% (3位)	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	18.1% (1位)	7.2%	13.3% (3位)	14.5% (2位)	10.8%	4.8%	6.0%	6.0%	7.2%	1.2%	2.4%	3.6%	3.6%	1.2%	0.0%
30歳代(n=60)	28.3% (1位)	10.1% (3位)	12.3% (2位)	8.0%	10.1%	5.1%	3.6%	5.1%	5.8%	4.3%	0.7%	2.2%	2.9%	1.4%	0.0%
40歳代(n=105)	21.5% (1位)	12.7% (3位)	11.5%	13.1% (2位)	12.7% (3位)	6.9%	5.8%	5.0%	4.6%	1.2%	0.0%	2.3%	1.5%	0.8%	0.4%
50歳代(n=120)	25.2% (1位)	11.5% (3位)	9.4%	10.8%	11.9% (2位)	6.6%	4.9%	6.3%	4.2%	0.3%	0.3%	4.2%	2.1%	1.0%	1.0%
60歳代(n=113)	22.1% (1位)	16.5% (2位)	8.4%	11.2% (3位)	10.4%	6.0%	7.2%	5.2%	2.4%	1.2%	0.4%	2.0%	4.0%	0.8%	2.0%
70歳代以上(n=123)	25.0% (1位)	12.5% (3位)	12.9% (2位)	6.6%	6.3%	8.6%	7.4%	5.9%	0.8%	2.0%	0.4%	2.0%	5.5%	0.8%	3.5%

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

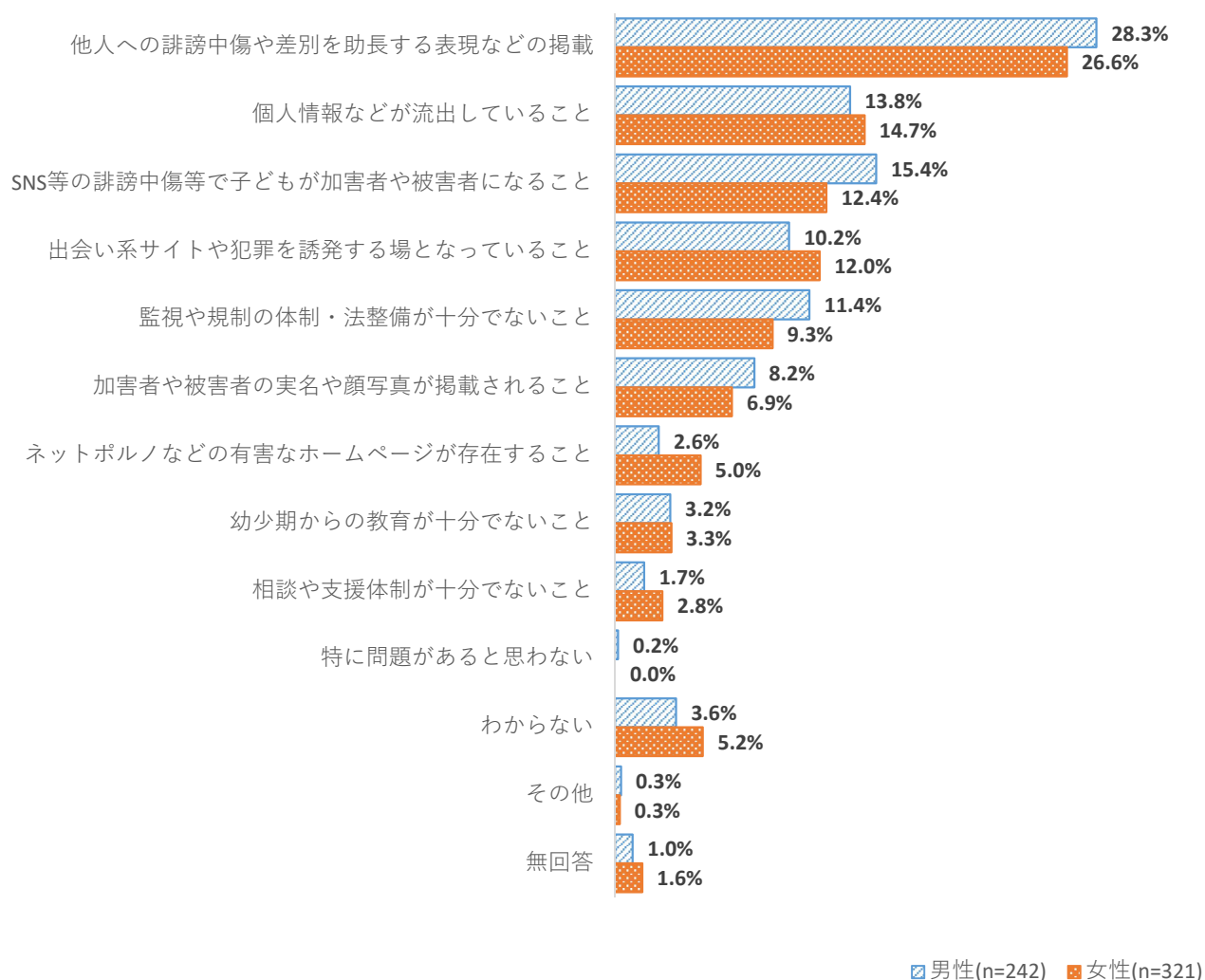
性別

男性、女性ともに「他人への誹謗中傷や差別を助長する表現などの掲載」の割合が最も高くなっています。

男性では「SNS等の誹謗中傷等で子どもが加害者や被害者になること」の割合が2番目に高く、「個人情報などが流出していること」の割合が3番目に高くなっています。

女性では「個人情報などが流出していること」の割合が2番目に高く、「SNS等の誹謗中傷等で子どもが加害者や被害者になること」の割合が3番目に高くなっています。

性別で順位に違いはあるものの、男性、女性ともに全体における上位3項目が上位3位に入っています。



年代別

全年代で「他人への誹謗中傷や差別を助長する表現などの掲載」の割合が最も高くなっています。

60歳代及び70歳代以上は、「監視や規制の体制・法整備が十分でないこと」の割合が他の年代と比べて高くなっており、同年代における上位3項目に入っています。

	他人への誹謗中傷や差別を助長する表現などの掲載	個人情報などが流出していること	SNS等の誹謗中傷等で子どもが加害者や被害者になること	出会い系サイトや犯罪を誘発する場となっていること	監視や規制の体制・法整備が十分でないこと	加害者や被害者の実名や顔写真が掲載されること	ネットポルノなどの有害なホームページが存在すること	幼少期からの教育が十分でないこと	相談や支援体制が十分でないこと	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	27.2% (1位)	14.3% (2位)	13.7% (3位)	11.1%	10.2%	7.4%	4.0%	3.2%	2.3%	0.1%	4.6%	0.4%	1.4%
10歳代(n=9)	25.0% (1位)	15.0% (3位)	5.0%	15.0% (3位)	5.0%	25.0% (1位)	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	27.6% (1位)	16.3% (2位)	16.3% (2位)	10.2%	7.1%	10.2%	2.0%	5.1%	2.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
30歳代(n=60)	25.2% (1位)	16.8% (2位)	16.1% (3位)	9.7%	9.7%	9.0%	2.6%	4.5%	1.3%	0.0%	5.2%	0.0%	0.0%
40歳代(n=105)	30.6% (1位)	16.6% (2位)	16.2% (3位)	10.2%	9.4%	7.2%	2.6%	3.8%	1.9%	0.0%	1.1%	0.0%	0.4%
50歳代(n=120)	29.8% (1位)	14.6% (2位)	13.9% (3位)	10.3%	8.9%	8.9%	4.0%	2.6%	2.0%	0.0%	2.3%	1.0%	1.7%
60歳代(n=113)	26.1% (1位)	12.1%	13.3% (2位)	11.4%	13.3% (2位)	6.1%	5.7%	2.3%	2.7%	0.4%	4.5%	0.8%	1.5%
70歳代以上(n=123)	23.2% (1位)	11.4% (3位)	9.4%	13.8% (2位)	11.4% (3位)	3.9%	5.9%	2.8%	3.5%	0.0%	11.0%	0.0%	3.5%

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

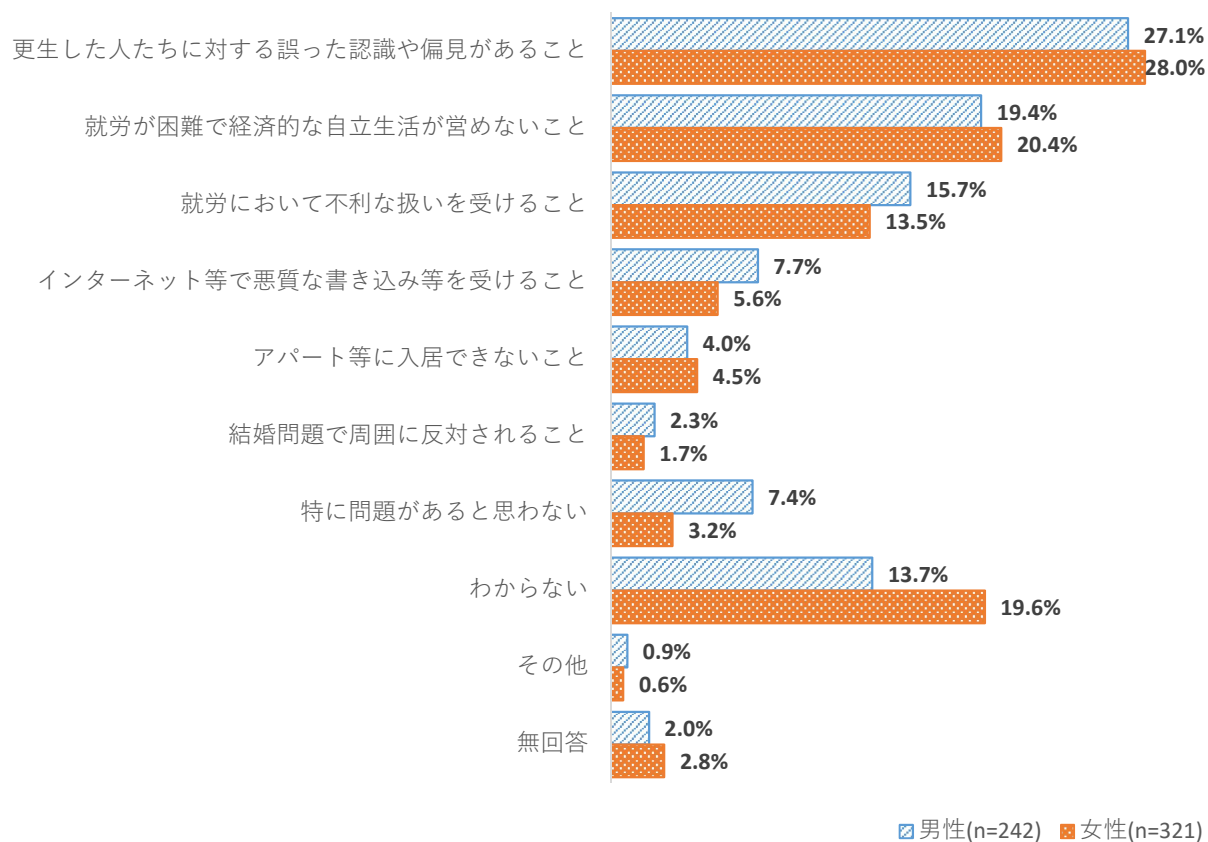
年代別
●(位) 割合が高い上位3位

性別

男性、女性ともに「更生した人たちに対する誤った認識や偏見があること」の割合が最も高く、次いで就労が困難で経済的な自立生活が営めないこと」の割合が高くなっています。

男性では「就労において不利な扱いを受けること」の割合が、女性では「わからない」の割合が3番目に高くなっています。

「わからない」の割合が、男性(13.7%)と比べて、女性(19.6%)が5.9ポイント高くなっています。



年代別

10歳代及び20歳代を除き、全体における上位3項目は各年代の上位3位に入っています。

20歳代は「わからない」の割合が他の年代と比べ高くなっています。

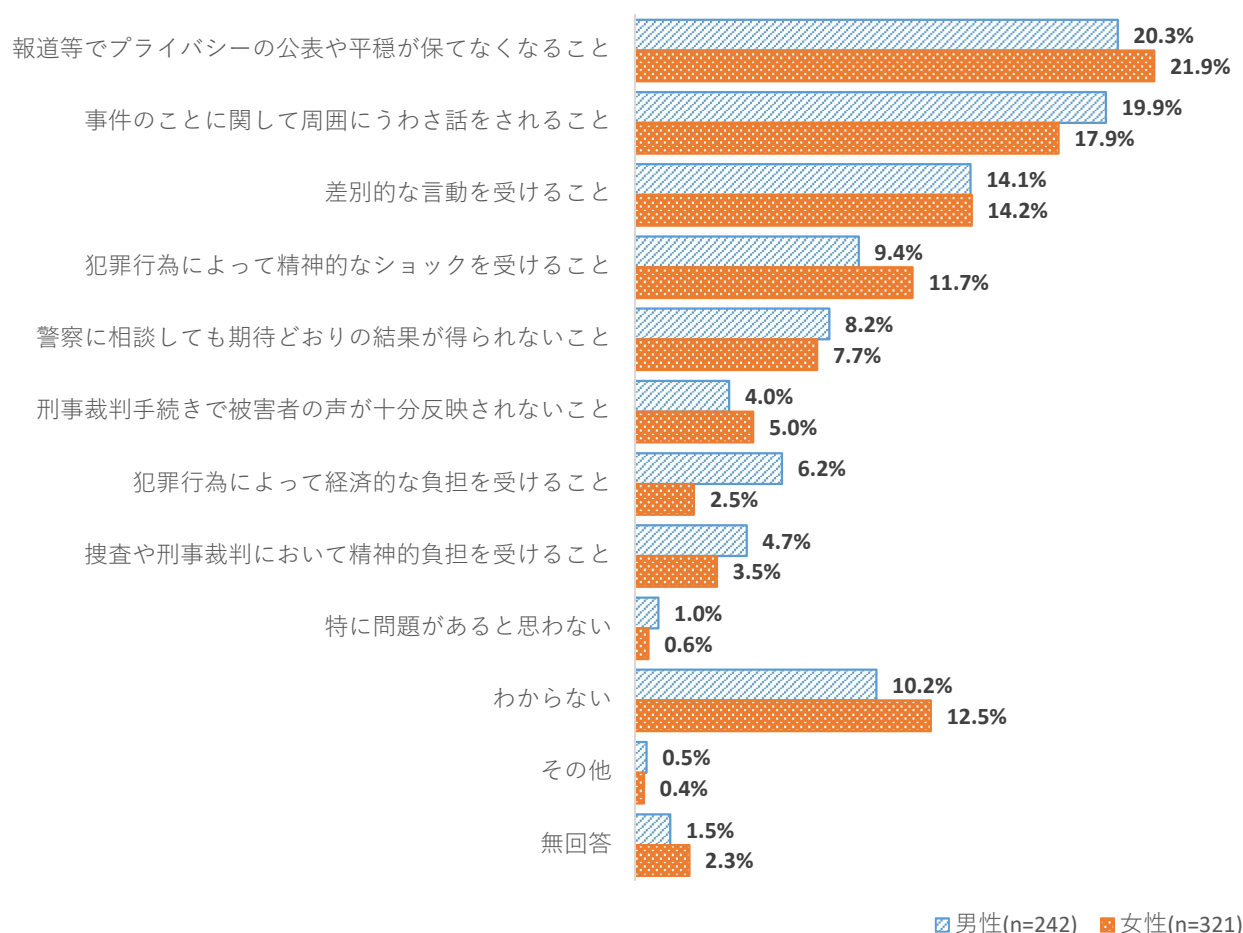
	更生した人々たちに対する誤った認識や偏見があること	就労が困難で経済的な自立生活が営めないこと	就労において不利な扱いを受けること	インターネット等で悪質な書き込み等を受けること	アパート等に入居できないこと	結婚問題で周囲に反対されること	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体 (n=572)	27.4% (1位)	19.8% (2位)	14.4%	6.5%	4.2%	1.9%	5.1%	17.2% (3位)	0.7%	2.7%
10歳代 (n=9)	30.8% (1位)	7.7%	15.4% (3位)	0.0%	7.7%	0.0%	23.1% (2位)	15.4% (3位)	0.0%	0.0%
20歳代 (n=41)	25.9% (1位)	9.3%	13.0% (3位)	5.6%	7.4%	0.0%	11.1%	25.9% (1位)	0.0%	1.9%
30歳代 (n=60)	25.0% (1位)	19.3% (2位)	14.8%	6.8%	6.8%	1.1%	8.0%	18.2% (3位)	0.0%	0.0%
40歳代 (n=105)	23.5% (2位)	24.8% (1位)	12.1%	9.4%	3.4%	1.3%	8.7%	15.4% (3位)	0.7%	0.7%
50歳代 (n=120)	28.9% (1位)	20.0% (2位)	15.6% (3位)	8.9%	2.8%	1.1%	3.3%	15.6% (3位)	1.7%	2.2%
60歳代 (n=113)	29.8% (1位)	18.5% (2位)	15.5%	4.8%	4.8%	1.8%	1.8%	18.5% (2位)	1.2%	3.6%
70歳代以上 (n=123)	28.7% (1位)	21.3% (2位)	14.4%	4.0%	3.4%	4.6%	2.3%	16.1% (3位)	0.0%	5.2%

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

性別

男性、女性ともに「報道等でプライバシーの公表や平穩が保てなくなること」の割合が最も高く、次いで「事件のことに關して周囲にうわさ話をされること」の割合、「差別的な言動を受けること」の割合となっており、全体における上位3位と同じとなっています。



年代別

70 歳代以上を除く年代で「報道等でプライバシーの公表や平穏が保てなくなる事」の割合が最も高くなっています。

また、10 歳代を除き、全体における上位 2 項目は各年代の上位 2 位に入っています。

	報道等でプライバシーの公表や平穏が保てなくなる事	事件のことにに関して周囲にうわさ話をされる事	差別的な言動を受ける事	犯罪行為によって精神的なショックを受ける事	警察に相談しても期待どおりの結果が得られない事	刑事裁判手続きで被害者の声が十分反映されない事	犯罪行為によって経済的な負担を受ける事	捜査や刑事裁判において精神的負担を受ける事	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	21.1% (1位)	18.6% (2位)	14.1% (3位)	10.6%	7.8%	4.6%	4.1%	4.0%	0.9%	11.6%	0.5%	2.1%
10歳代(n=9)	33.3% (1位)	6.7%	26.7% (2位)	13.3% (3位)	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	22.0% (1位)	18.6% (2位)	13.6%	5.1%	8.5%	3.4%	5.1%	3.4%	3.4%	15.3% (3位)	0.0%	1.7%
30歳代(n=60)	21.4% (1位)	19.4% (2位)	16.5% (3位)	9.7%	7.8%	3.9%	3.9%	4.9%	1.9%	9.7%	1.0%	0.0%
40歳代(n=105)	22.0% (1位)	16.1% (2位)	16.1% (2位)	11.8%	7.0%	7.0%	7.0%	5.4%	0.5%	7.0%	0.0%	0.0%
50歳代(n=120)	23.2% (1位)	19.2% (2位)	10.3%	11.8% (3位)	9.9%	3.4%	4.4%	5.4%	0.0%	9.9%	1.0%	1.5%
60歳代(n=113)	20.9% (1位)	20.9% (1位)	12.1%	13.2%	3.8%	6.0%	1.1%	2.7%	0.0%	14.8% (3位)	1.1%	3.3%
70歳代以上(n=123)	16.8% (2位)	18.9% (1位)	16.2% (3位)	7.6%	10.3%	3.2%	3.2%	2.2%	1.1%	15.7%	0.0%	4.9%

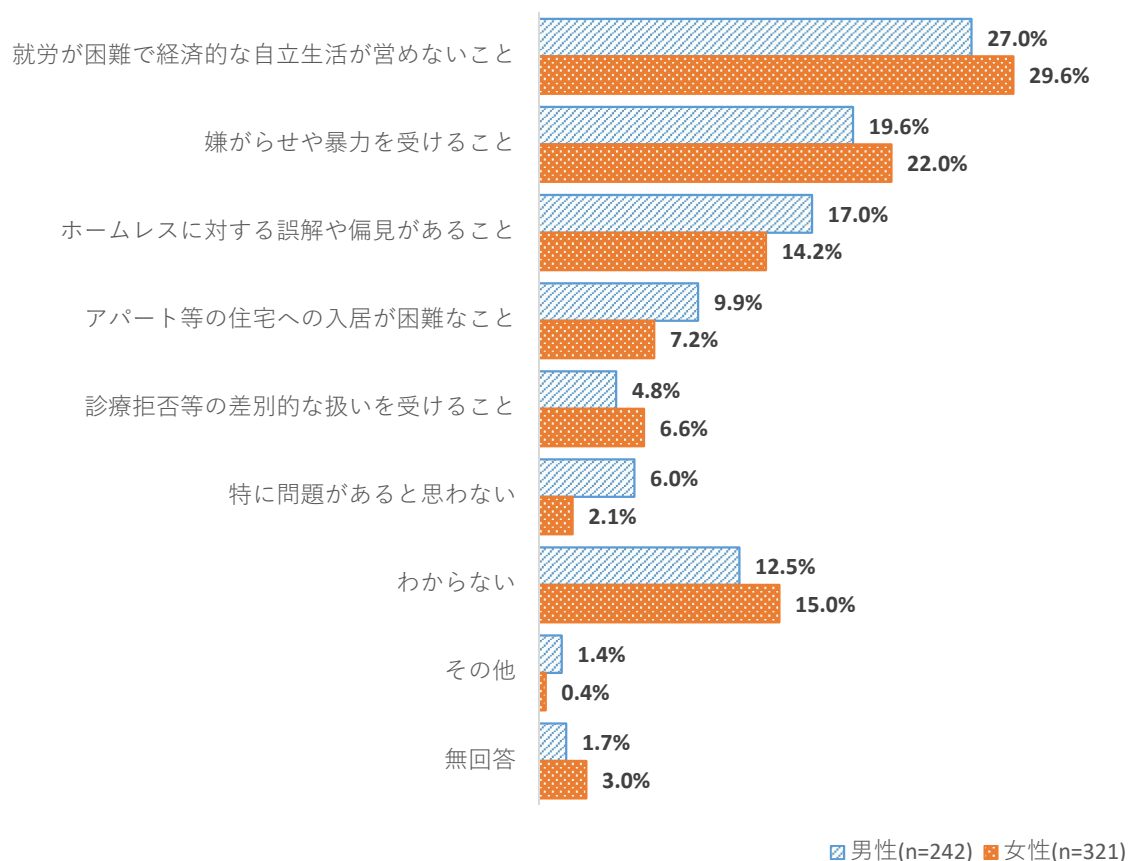
項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

性別

男性、女性ともに「就労が困難で経済的な自立生活が営めないこと」の割合が最も高く、次いで「嫌がらせや暴力を受けること」の割合となっています。

男性は「ホームレスに対する誤解や偏見があること」の割合が3番目に高く、女性は「わからない」の割合が3番目に高くなっています。



年代別

40歳代を除く各年代で「就労が困難で経済的な自立生活が営めないこと」の割合が最も高くなっています。

40歳代は「嫌がらせや暴力を受けること」の割合が29.9%で最も高く、他の年代と比べて6ポイント以上高くなっています。

	営就 め労 ない こ難 とで 経 済 的 な 自 立 生 活 が	嫌 が ら せ や 暴 力 を 受 け る こ と	あ る こ と レ ス に 対 す る 誤 解 や 偏 見 が	ホ ム レ ス に 対 す る 誤 解 や 偏 見 が	困 難 な こ と の 住 宅 へ の 入 居 が	ア パ ー ト 等 の 差 別 的 な	扱 い を 拒 否 す る こ と	診 療 拒 否 の 差 別 的 な	特 に 問 題 が あ る と 思 わ な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=572)	28.4% (1位)	20.8% (2位)	15.3% (3位)	8.5%	5.7%	4.1%	13.9%	0.8%	2.5%			
10歳代(n=9)	38.5% (1位)	23.1% (3位)	23.1% (2位)	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
20歳代(n=41)	26.8% (1位)	16.1% (2位)	12.5%	1.8%	16.1% (2位)	7.1%	16.1% (2位)	1.8%	1.8%			
30歳代(n=60)	32.2% (1位)	20.0% (2位)	12.2%	6.7%	8.9%	6.7%	13.3% (3位)	0.0%	0.0%			
40歳代(n=105)	26.8% (2位)	29.9% (1位)	15.3% (3位)	8.3%	3.8%	6.4%	9.6%	0.0%	0.0%			
50歳代(n=120)	27.0% (1位)	21.9% (2位)	16.3% (3位)	7.3%	7.3%	3.4%	14.0%	1.1%	1.7%			
60歳代(n=113)	25.9% (1位)	20.5% (2位)	16.3% (3位)	9.0%	5.4%	2.4%	16.3%	1.2%	3.0%			
70歳代以上(n=123)	31.8% (1位)	13.6%	15.3% (3位)	12.5%	1.7%	1.7%	15.9% (2位)	1.1%	6.3%			

項目別
 全体と比べて+5ポイント
 全体と比べて+10ポイント

年代別
●(位) 割合が高い上位3位

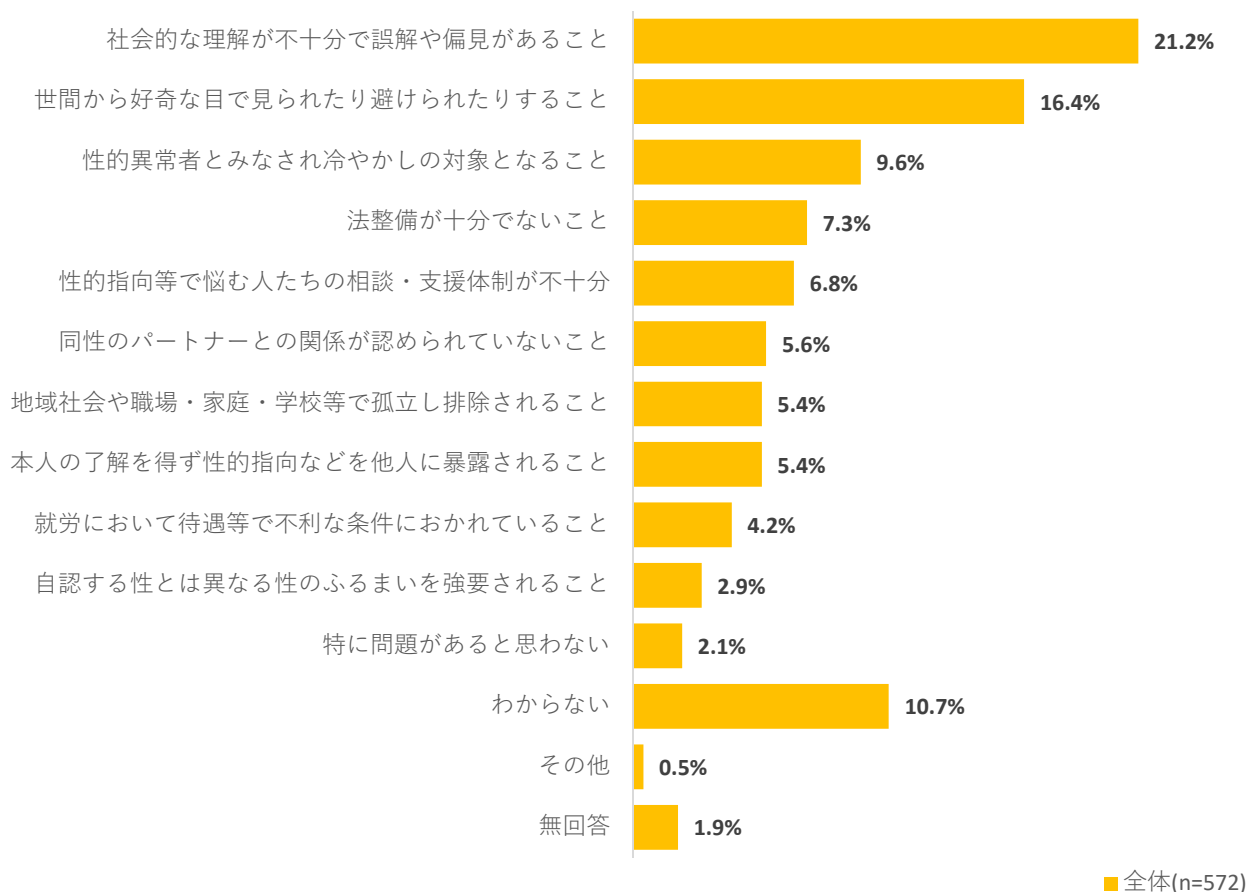
16 多様な性に対する人権について

(1) 多様な性に対する人権に対する問題意識

問 24 多様な性に対する人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。 《○は3つまで》

全 体

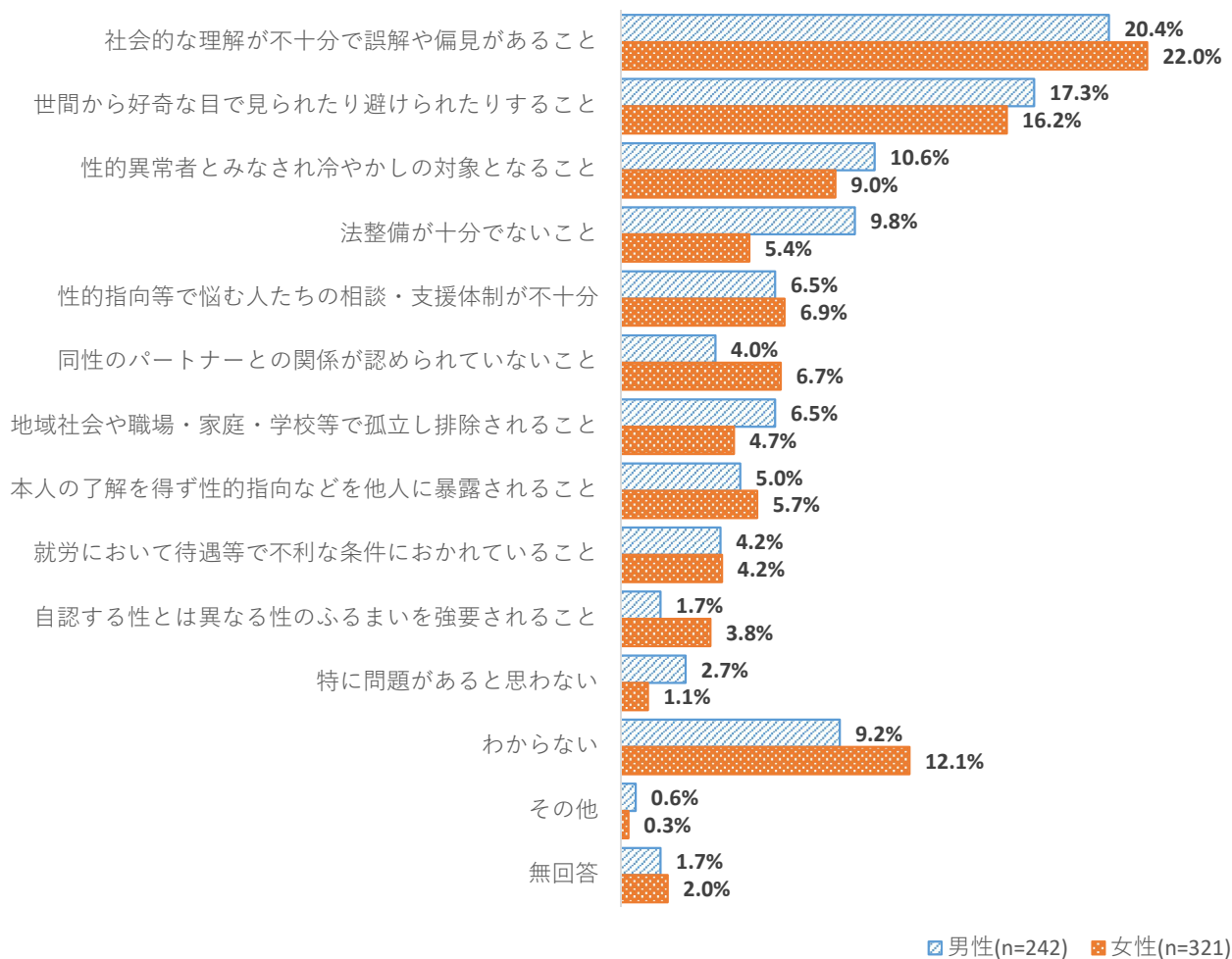
多様な性に対する人権に対する問題意識について尋ねたところ、「社会的な理解が不十分で誤解や偏見があること」の割合が 21.2%で最も高く、次いで「世間から好奇心な目で見られたり避けられたりすること」の割合が 16.4%、「わからない」の割合が 10.7%となっています。



性別

男性、女性ともに「社会的な理解が不十分で誤解や偏見があること」の割合が最も高く、次いで「世間から好奇な目で見られたり避けられたりすること」の割合となっており、全体における上位2位と同じとなっています。

3番目に割合が高い項目として、男性では「性的異常者とみなされ冷やかしの対象となること」、女性では「わからない」となっています。



年代別

10 歳代の「社会的な理解が不十分で誤解や偏見があること」を除き、各年代で「社会的な理解が不十分で誤解や偏見があること」の割合が最も高く、次いで「世間から好奇心な目で見られたり避けられたりすること」の割合となっています。

70 歳代以上では「わからない」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

	社会的な理解が不十分で誤解や偏見があること	世間から好奇心な目で見られたり避けられたりすること	性的異常者とみなされ冷やかしの対象となること	法整備が十分でないこと	性的指向等で悩む人たちの相談・支援体制が不十分	同性のパートナーとの関係が認められていないこと	地域社会や職場・家庭・学校等で孤立し排除されること	本人の了解を得ず性的指向などを他人に暴露されること	就労において待遇等で不利な条件におかれていること	自認する性とは異なる性のふるまいを強要されること	特に問題があると思わない	わからない	その他	無回答
全体(n=572)	21.2% (1位)	16.4% (2位)	9.6%	7.3%	6.8%	5.6%	5.4%	5.4%	4.2%	2.9%	2.1%	10.7% (3位)	0.5%	1.9%
10歳代(n=9)	5.9%	11.8% (2位)	5.9%	0.0%	0.0%	17.6% (1位)	11.8% (2位)	5.9%	11.8% (2位)	11.8% (2位)	11.8% (2位)	5.9%	0.0%	0.0%
20歳代(n=41)	21.1% (1位)	13.2% (2位)	11.8%	5.3%	6.6%	11.8%	7.9%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%	13.2% (2位)	0.0%	1.3%
30歳代(n=60)	21.4% (1位)	11.1% (2位)	11.1% (2位)	5.6%	9.5%	10.3%	5.6%	4.0%	3.2%	5.6%	4.8%	7.9%	0.0%	0.0%
40歳代(n=105)	22.6% (1位)	15.4% (2位)	11.8% (3位)	9.5%	5.9%	4.5%	3.6%	7.2%	6.3%	3.2%	1.8%	7.7%	0.5%	0.0%
50歳代(n=120)	21.6% (1位)	17.0% (2位)	12.9% (3位)	7.1%	5.8%	5.4%	5.0%	6.6%	3.7%	1.7%	2.1%	9.1%	0.4%	1.7%
60歳代(n=113)	21.2% (1位)	20.3% (2位)	7.8%	7.4%	8.8%	4.1%	5.1%	5.5%	3.2%	1.8%	0.5%	11.1% (3位)	0.5%	2.8%
70歳代以上(n=123)	20.7% (1位)	17.8% (2位)	3.8%	7.7%	5.8%	2.4%	6.7%	3.8%	3.8%	3.8%	1.4%	16.8% (3位)	1.0%	4.3%

項目別
全体と比べて+5ポイント 年代別
全体と比べて+10ポイント (●位) 割合が高い上位3位

(2) 多様な性に対する考え方

問 25 あなたは多様な性に関して、どのような考えをお持ちですか。

《項目ごとに○を1つ》

① 項目「性は多様であり、一人ひとり違って当然である」

全 体

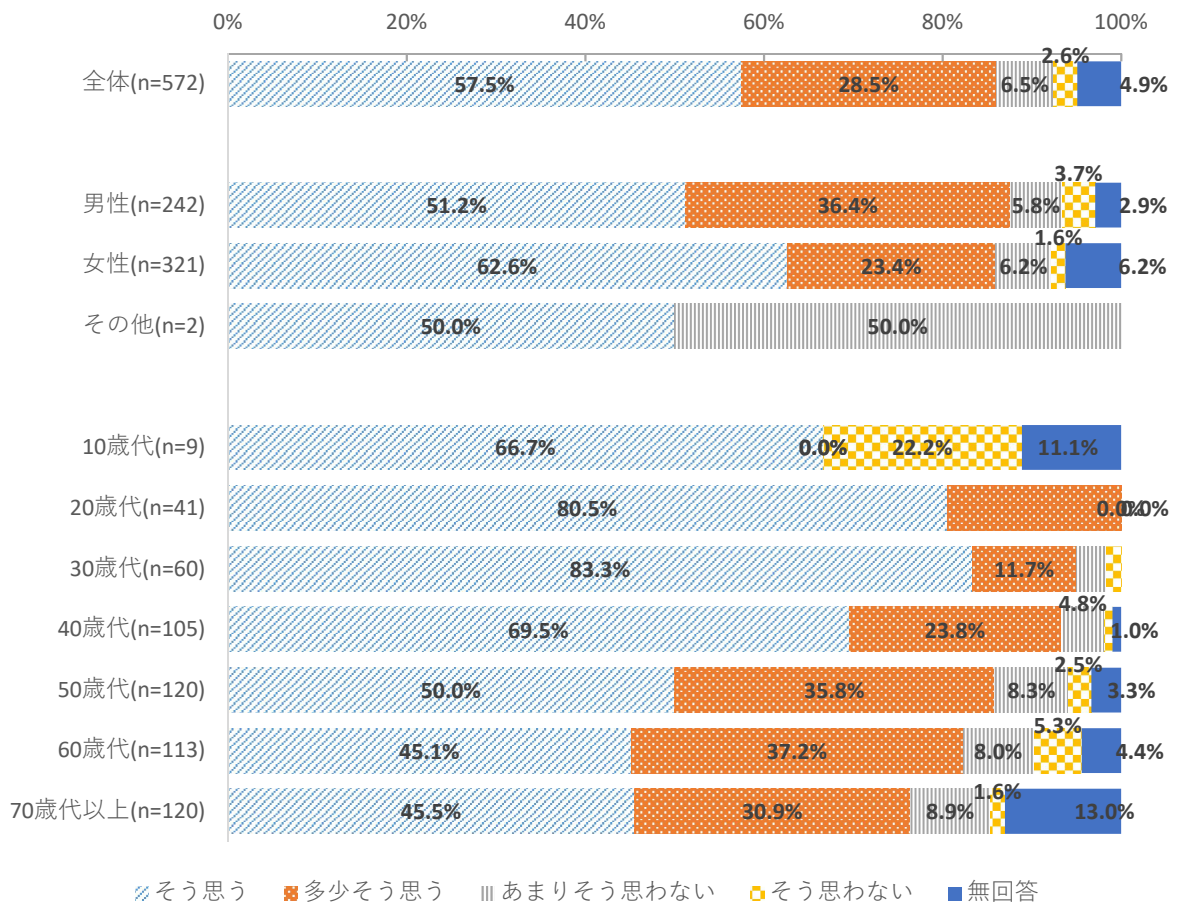
「性は多様であり、一人ひとり違って当然である」に対して、「そう思う」から「そう思わない」まで4段階のいずれに該当するかを尋ねたところ、「そう思う」が57.5%で最も多く、次いで「多少そう思う」が28.5%となっており、この合計で全体の8割以上を占めています。

性 別

「そう思う」の割合は男性(51.2%)に比べ、女性(62.6%)が11.4ポイント高くなっています。

年代別

「そう思う」の割合は20歳代(80.5%)及び30歳代(83.5%)で8割を超え、年代が高くなるにつれて、割合は低い傾向となっています。



② 項目「テレビ等で取り上げられており、関心の高さを感ずる」

全体

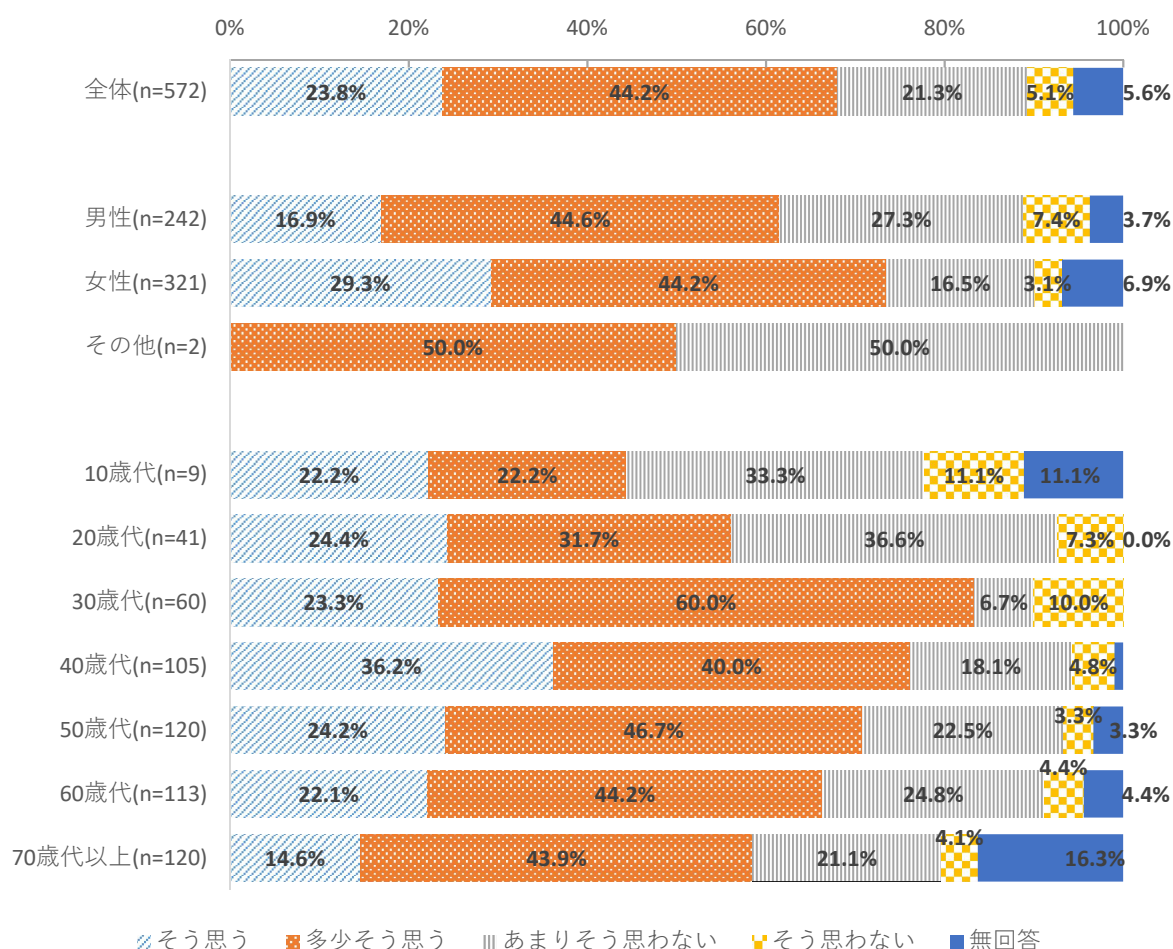
「テレビ等で取り上げられており、関心の高さを感ずる」に対して、「そう思う」から「そう思わない」まで4段階のいずれに該当するかを尋ねたところ、「多少そう思う」の割合が44.2%で最も高く、次いで「そう思う」が23.8%で、この合計で全体の6割以上を占めています。

性別

男性、女性ともに「多少そう思う」の割合が最も高くなっています。「そう思う」の割合は男性(16.9%)に比べて、女性(29.3%)が12.4ポイント高くなっています。

年代別

各年代で「多少そう思う」の割合が最も高くなっています。「そう思う」の割合は40歳代が36.2%で最も高く、70歳代以上が14.6%で最も低くなっており、その他の年代では22%台から24%台となっています。



③ 項目「芸能人や著名人など注目を集めている人たちのことで、自分には関係ない」

全 体

「芸能人や著名人など注目を集めている人たちのことで、自分には関係ない」に対して、「そう思う」から「そう思わない」まで4段階のいずれに該当するかを尋ねたところ、「あまりそう思わない」の割合が35.1%で最も高く、次いで「多少そう思う」の割合が29.0%となっています。

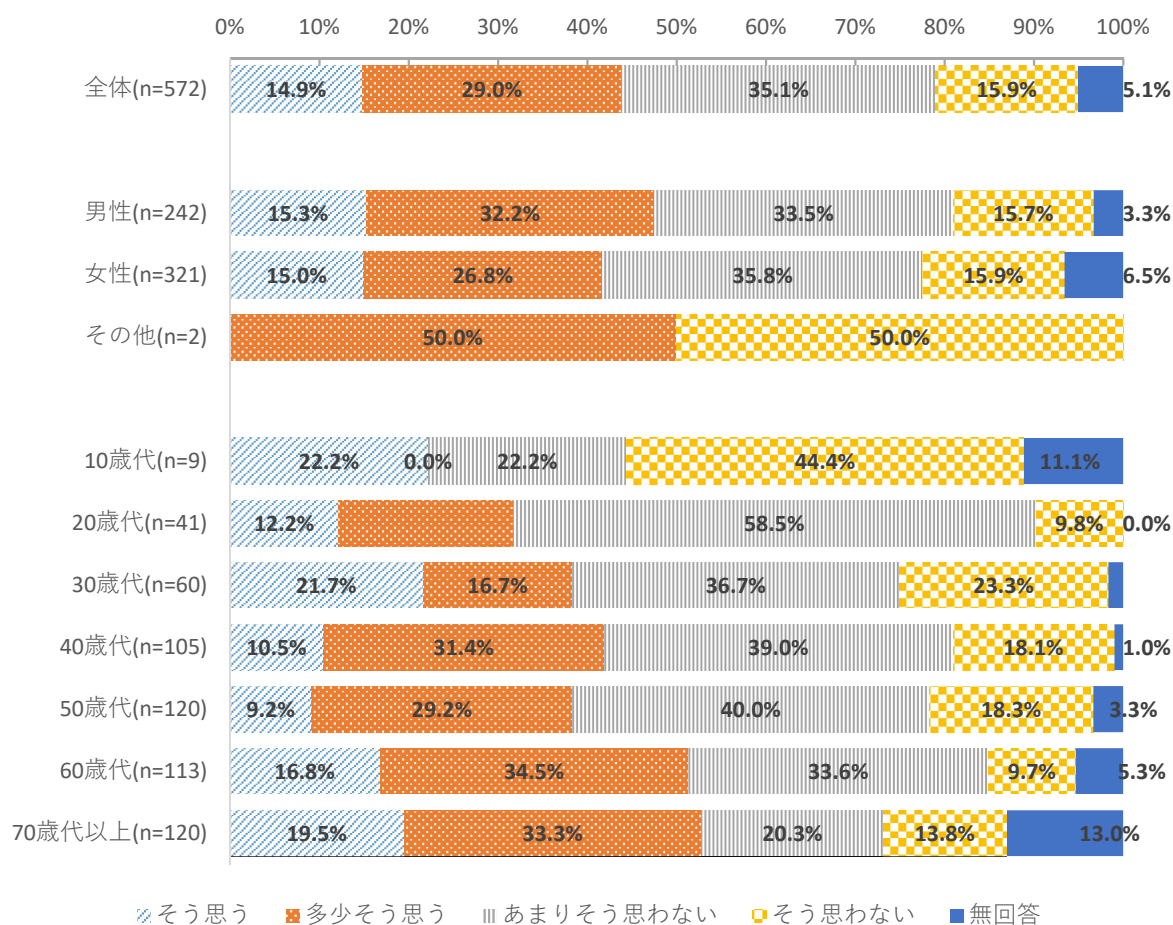
「そう思う」と「多少そう思う」の合計は43.9%で、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計は51.0%となっています。

性 別

男性、女性ともに「あまりそう思わない」の割合が最も高く、次いで「多少そう思う」の割合となっています。

年代別

「そう思う」と「多少そう思う」の合計の割合は、50歳代を除き年代が高くなるにつれて割合も高い傾向となっています。



④ 項目「自分にも身近な問題である」

全体

「自分にも身近な問題である」に対して、「そう思う」から「そう思わない」まで4段階のいずれに該当するかを尋ねたところ、「あまりそう思わない」の割合が32.2%で最も高く、次いで「そう思わない」の割合が32.2%となっており、この合計は6割を超えています。

性別

男性、女性ともに全体における構成比とほぼ同じとなっています。

年代別

「そう思わない」の割合は、年代が高いほど高い傾向となっています。50歳代及び60歳代は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の割合の合計が7割を超えています。

